



4ch デジタルビデオレコーダ MDR-004S

取扱説明書

(Ver 0.8.2)




目次

1. 正しくお使いいただくために	P 2
2. 主な特長	P 3
3. 各部の名称	P 4
3-1. 正面パネル	P 4
3-2. 背面パネル	P 4
3-3. LED 表示	P 5
3-4. リモートコントローラ	P 5
3-5. マウス	P 6
3-6. アクティブカメラ	P 6
3-7. シンボルとアイコン	P 7
4. 操作	P 7
4-1. 基本操作	P 7
4-2. PTZ 制御	P 9
4-3. 録画	P 11
4-4. 再生	P 11
5. 機器設定	P 14
5-1. 設定メニュー	P 14
5-2. カメラ設定	P 14
5-3. モニタ設定	P 15
5-4. 録画設定	P 17
5-5. アラーム設定	P 19
5-6. ネットワーク設定	P 20
5-7. システム設定	P 22
5-8. PTZ 設定	P 25
5-9. バックアップ	P 27
6. 遠隔監視	P 28
6-1. インターネットを使う前に	P 28
6-2. 接続	P 29
6-3. 遠隔監視	P 30
6-4. 遠隔再生	P 31
6-5. 遠隔設定	P 32
6-6. 再生ソフトのダウンロード	P 40
7. バックアップデータの再生	P 41
7-1. 再生ソフトのインストール	P 41
7-2. 再生ソフトの使用方法	P 41
8. 録画日数	P 42
9. 電源ケーブルの固定	P 42
10. 機器仕様	P 43

1. 正しくお使いいただくために

以下の警告・注意事項をお読みにになり、安全にご使用ください

 **警告** 人が死亡、または重症を負う恐れがある内容です。

●電源は正しく使用する

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●湿気の多い場所では使用しない。

風呂場・炊事場など、湿気の多いところ、湯気、油煙、ほこりがあたるような場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●雷が鳴りはじめたときの対処

雷が鳴りはじめたら、電源ケーブルをすみやかにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●キャビネットは絶対にはずさないでください。

火災・感電の原因となります。内部点検、調整、修理は販売店にご依頼ください


●機器に異常が生じたときの対処

万一煙がでてい、変なおいや音がする、本体を触ることができないほど発熱している場合などの異常状態になったときは、電源ケーブルをすみやかにコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●改造は絶対にしないでください。

本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●機器に水が入る可能性のある環境では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。降雨中、海岸、川岸水辺での使用は危険ですのでおやめください。

 **警告** 人が障害を負ったり、財産が損害を受けたりする恐れのある内容です。

●直射日光や熱器具の近くは避けてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くには置かないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。

●お手入れのとき

お手入れのときは、安全のため、作業の前に必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

●磁気を発生させる機器の近くには置かない。

磁気を発生させる機器の近くには置かないでください。磁気の影響をうけて、正しく動作しないことがあります。

2. 主な特長

- 同時録画・再生が可能な高画質 4 映像入力のデジタル・ビデオ・レコーダです。
- 画像圧縮方式にすぐれた H.264 を採用、長時間録画を可能としています。
- Full D1 H.264 をサポートしています。
- インターネットまたは LAN を介して、DVR の設定・再生などの遠隔操作、ライブ映像監視ができます。
- 録画フレームレートはチャンネル毎に設定できます。
- 250GB または 500GB の HDD を 1 台標準装備しています。
- バックアップメディアは USB フラッシュメモリが使用できます。
- ライブ映像のチャンネルはマウスドラッグにより簡単に入れ替えができます。
- VGA モニタが使用できます。
- 低消費電力であるとともに VESA DPMS (省エネ規格) にも対応しています。
- 音声入出力端子各 1 系統装備しています。
- 各カメラ映像に対して 30 × 24 ユニットの動き検知機能を装備しています。
- フル画面のときシーケンシャル切替ができます。
- 機器は本体釦／マウス／ワイヤレスリモートコントロールユニットで操作できます。
(注意. 複数の DVR を 1 台のリモートコントロールユニットで制御できます。最大 255 台まで)
- 週間タイマー機能を装備しています。
- デジタルズーム機能装備しています。(ライブ映像)
- PTZカメラ(弊社)の操作ができます。

3. 各部の名称

3-1. 正面パネル

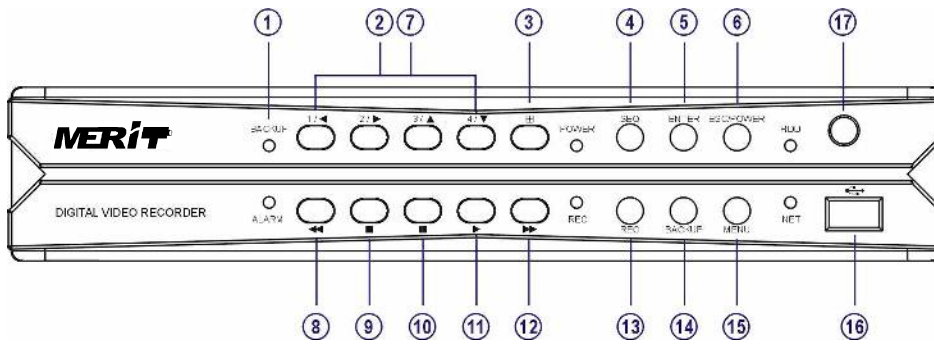


図1

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| ① LED 表示
(詳細は LED 表示の項目を参照下さい) | ⑨ 再生停止鈕 |
| ② カメラ選択鈕 | ⑩ 一時停止鈕 |
| ③ 4 分割表示鈕 | ⑪ 再生鈕 |
| ④ シーケンス鈕 | ⑫ 早送り鈕 |
| ⑤ ENTER 鈕 | ⑬ 録画開始鈕 |
| ⑥ ESC/電源鈕 | ⑭ バックアップ鈕 |
| ⑦ 左・右・上・下鈕 | ⑮ メニュー鈕 |
| ⑧ 早戻し鈕 | ⑯ USB 2.0 コネクタ |
| | ⑰ 赤外線受光部 |

3-2. 背面パネル

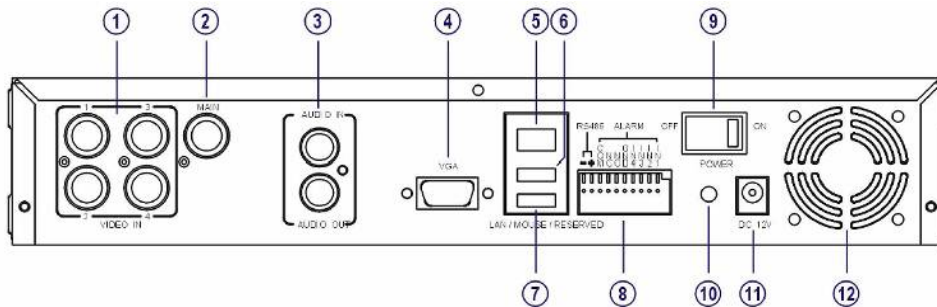


図2

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ① カメラ映像入力端子 (BNC) | ⑦ 予備コネクタ |
| ② モニタ出力 (BNC) | ⑧ RS-485 出力/アラーム入出力端子 |
| ③ 音声入出力端子 (RCA ピン) | ⑨ 電源スイッチ |
| ④ VGA 端子 (D-sub15p) | ⑩ 電源プラグロック |
| ⑤ ネットワーク端子 (RJ-45) | ⑪ 電源コネクタ (DC12V、4.2A) |
| ⑥ マウス接続コネクタ (USB) | ⑫ 冷却ファン |

■RS-485 出力/アラーム入出力端子

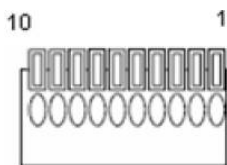


図3

1	アラーム入力 1
2	アラーム入力 2
3	アラーム入力 3
4	アラーム入力 4
5	GND
6	アラーム出力 NO (通常開放)
7	アラーム出力 NC (通常閉塞)
8	COM
9	RS-485(+)
10	RS-485(-)

3-3. LED 表示

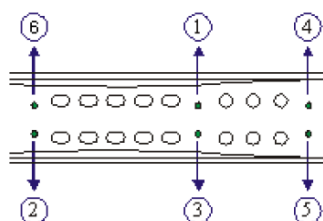


図 4

1	POWER	電源の ON/OFF 表示	黄
2	ALARM	モーション・外部アラーム入力表示	赤
3	REC	録画表示	黄
4	HDD 1	マスターHDD 録画表示	緑(点滅)
5	NET	ネットアクセス表示	緑(点滅)
6	BACKUP	バックアップ表示	緑(点滅)

3-4. リモートコントローラ

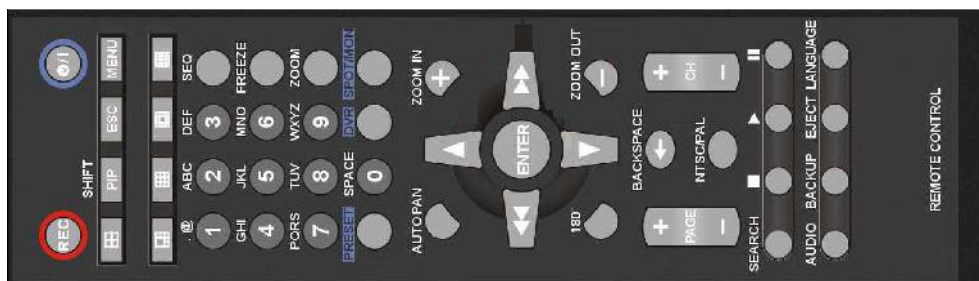


図 5

ボタン	機能	ボタン	機能
MENU	設定メニューの表示	PAGE +	次の分割画面
ESC	エスケープ/EXIT	PAGE -	前の分割画面
PIP/SHIFT	PIP モード/SHIFT	AUTO PAN	オートパンの実行
	4 分割表示	ZOOM IN	PTZ カメラのズームイン
	本機では使用していません	ZOOM OUT	PTZ カメラのズームアウト
	本機では使用していません	180°	180 度反転の実行
	本機では使用していません	PRESET	プリセット呼び出し
SEQ	シーケンシャル表示	DVR	DVR ID 呼び出し/入力
FREEZE	ライブ映像のフリーズ	SPOT/MON	本機では使用していません
ZOOM	デジタルズーム	ENTER	確定
REC	録画開始/停止	0 ~ 9	数字/文字
SEARCH	時間検索		上へ移動/PTZ カメラのチルト上
	一時停止		下へ移動/PTZ カメラのチルト下
	再生		左へ移動/PTZ カメラのパン左
	停止		右へ移動/PTZ カメラのパン右
	早送り	BACKSPACE	バックスペース
	早戻し	NTSC/PAL	映像方式選択
○/I	電源 ON/シャットダウン	AUDIO	音声 ON/OFF
CH +	次のチャンネル	BACKUP	映像バックアップ
CH -	前のチャンネル	EJECT	本機では使用していません
		LANGUAGE	言語選択

3-5. マウス

本機は、USB マウスを使用して機器の操作ができます。

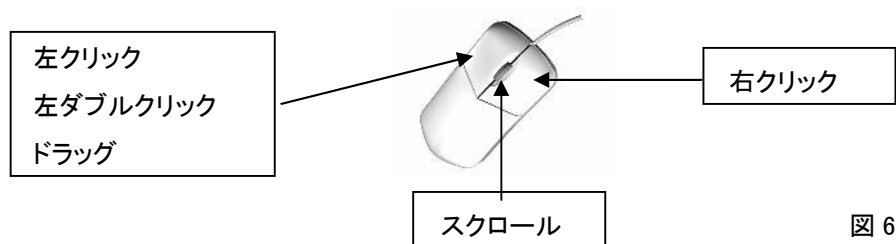


図 6

- 左クリック** : メニュー項目を選択します。
分割表示の時、選択したカメラがアクティブモードになります。
- 左ダブルクリック** : 分割表示の時、選択したカメラがフルスクリーン表示されます。
- ドラッグ** : モーション検知範囲設定時、検知範囲を設定することができます。
- スクロール** : セットアップメニュー時、マウススクロールで値を増減することができます。
- 右クリック** : サブメニューの表示またはメインメニューに戻ります。

3-5-1. マウスメニュー

マウスメニューを使用するにはタスクバーの [メニュー] をクリックしてください。画面にマウスメニューが表示されます。

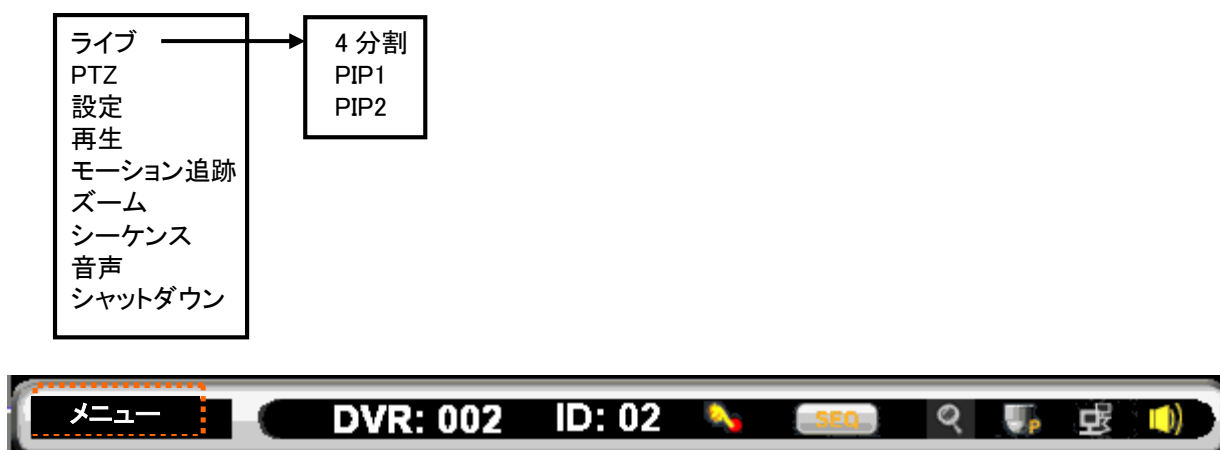


図 7

3-6. アクティブカメラ

アクティブになったカメラの名称は画面上で黄色に表示され、PTZ カメラであればパンチルト/ズームの操作が可能になります。カメラをアクティブにするには、本体のカメラ選択釦を押すか、リモートコントローラでは「1」～「9」、「0」の数字釦で、1 番カメラは「0」「1」、2 番カメラは「0」「2」、3 番カメラは「0」「3」、4 番カメラは「0」「4」と押してカメラを選択してください。また、4 分割表示されている場合はマウスで該当する画面の上をクリックしアクティブにすることもできます。カメラを選択するとフル画面表示になります。フル画面表示を再び 4 分割表示に戻しても、最後に選択されたカメラがアクティブとして記憶されています。

3-7. シンボルとアイコン

モニタ画面の下部にはタスクバーが表示されます。タスクバーにはリモートコントローラ、マウス、別売のキーボードで操作している間、操作・本機の状態がアイコンで表示されます。



メニュー	マウスメニュー		ズームモード
DVR: 002	制御中 DVR ID/RS-485 ID		シーケンシャルモード
ID: 02	DVR の ID		PTZ カメラ・プリセットモード
	マニュアル録画モード		ネットワーク接続表示
	スケジュール録画モード		音声 ON/OFF 表示

図 8

4. 操作

4-1. 基本操作

本機の操作は、本体の押し釦、付属のリモートコントローラ、USB マウス、別売のキーボード(MKB-931D)の 4 通りの方法で行うことができます。キーボードによる操作は MKB-931D の取扱説明書をご参照ください。

リモートコントローラはすべての操作を行うことができますが、本体及びマウスでは一部の操作を行うことができません。

ライブ映像監視時の画面レイアウトは下図のとおりです。

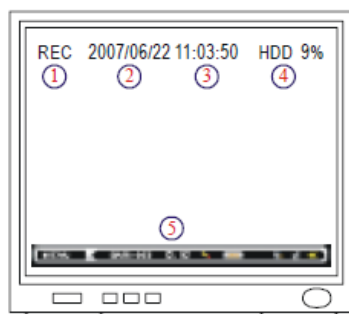


図 9

- ①録画インジケータ
- ②日付
- ③時間
- ④HDD 録画済パーセント
- ⑤タスクバー

4-1-1. 4 分割表示

4 台のカメラ映像を画面 4 分割にして同時に表示します。

本体及びリモートコントローラでは「田」釦を押してください。

マウスでは、マウスメニューの中から [ライブ] → [4 分割] をクリックしてください。

4-1-2. フル画面表示

選択した映像をフル画面で表示します。

表示させる映像の選択は、本体では「1」～「4」のカメラ選択釦を押してください。リモートコントローラでは「1」～「9」、「0」の数字釦で、1 番カメラは「0」「1」、2 番カメラは「0」「2」、3 番カメラは「0」「3」、4 番カメラは「0」「4」と押してください。

「CH+」「CH-」釦で順番に切り替えて表示させることもできます。

マウスでは、この操作はできません。

4-1-3. シーケンシャル表示

それぞれのカメラ映像を設定された時間間隔で自動的に切り替えて、フル画面で表示します。

本体及びリモートコントローラでは「SEQ」釦を押してください。

マウスでは、マウスメニューの中から [シーケンス] をクリックしてください。もう一度 [シーケンス] をクリックするとシーケンシャル表示が停止します。

4-1-4. ピクチャインピクチャ(PIP)表示

フル画面上に小画面を1つまたは2つ配置し、その小画面に別のカメラ映像を表示させることができます。

リモートコントローラで PIP を表示させるには、「PIP」釦を押してください。小画面が1つ表示されます。「PIP」釦をもう一度押すと小画面が2つ表示されます。表示されている映像は「CH+」「CH-」釦で別なカメラ映像に切り替えることができます。また切り替える場所(フル画面または小画面)は「ENTER」釦で選択できます。

マウスでは、マウスメニューの中から [ライブ] → [PIP1] または [PIP2] をクリックしてください。表示させる映像はマウスドラッグで自由に入れ替えることができます。

4-1-5. フリーズ

ライブ映像監視中に、個々のカメラをフリーズさせることができます。フリーズさせるカメラを選択(アクティブに)しリモートコントローラの「FREEZE」釦を押してください。フリーズを解除するには、もう一度「FREEZE」釦を押してください。本体とマウスでは、この操作はできません。

4-1-6. デジタルズーム

ライブ映像監視中に、デジタルズーム機能により、画面の一部分を拡大して表示することができます。

リモートコントローラの「ZOOM」釦を押し、DVR をズームモードにしたら、▲▼◀▶ 釦でズームする位置を移動してください。ズームモードを解除するには、もう一度「ZOOM」釦を押してください。

マウスでデジタルズーム機能を使うには、フル画面上でマウスをダブルクリックし、ズームしたい場所をドラッグしてください。

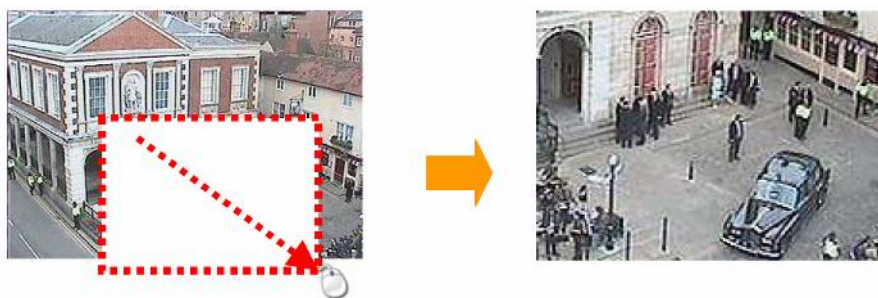



図 10

本体では、デジタルズームの操作はできません。

4-1-7. ライブ音声の出力

音声チャンネルが正しく接続・設定されている場合、リモートコントローラの「AUDIO」釦を押すとライブ音声が出力され、タスクバーの音声アイコン  が白色から黄色に変わります。音声出力を止めるには、もう一度「AUDIO」釦を押してください。本体では、設定メニューで [メニュー] → [システム] → [ライブ音声] で [オン/オフ] の選択をしてください。マウスではマウスメニューの中から [音声] をクリックしてください。クリックの度に音声出力がオン/オフします。

4-1-8. DVR の呼び出し

複数の DVR を 1 台のリモートコントローラで操作する場合、リモートコントローラの「DVR」釦を押し、続いて操作する DVR の ID 番号を「1」～「9」、「0」の数字釦で入力してください。該当する ID 番号を持つ DVR だけが操作可能となり、その他の DVR は自分の ID 番号が呼び出されるまでスリーピングモードになります。予め設定された個々の DVR の ID 番号はタスクバーに表示されています。

4-1-9. 映像方式の選択

リモートコントローラの「NTSC/PAL」釦を押すと、使用する映像方式 (NTSC/PAL) を切り替えることができます。

(日本国内で使用されるカメラは通常 NTSC 方式です。)

映像方式の切り替えにはパスワードの入力が要求されます。

本体・マウスでは設定メニューで [メニュー] → [システム] → [映像方式] で [NTSC/PAL] のどちらかを選択してください。


4-1-10. 言語の選択

リモートコントローラの「LANGUAGE」釦を押すと、押す度に画面に表示される言語が切り替わります。

(日本語、英語、中国語、スペイン語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、その他全 12 カ国語をサポートしています。)

本体・マウスでは設定メニューで [メニュー] → [システム] → [言語] で使用する言語を選択してください。

4-1-11. シャットダウン

DVR の電源を正しく切るには、本体の「ESC/POWER」釦またはリモートコントローラの「ESC」釦を押し、表示されたマウスメニューの中から [シャットダウン] を選択してください。またはリモートコントローラの「」釦を押してください。表示されたパスワード・ダイアログボックスに管理者パスワードを入力し、シャットダウンを実行してください。この手順を経ずに本体背面の電源スイッチを切ると、映像ファイルが破壊される恐れがあり、また次に電源を立ち上げた時にファイルのリカバリーが自動的に始まる場合があります。

4-1-12. OK/キャンセル選択 (OSD メニュー)

機器の設定を行う際、OSD メニューの中で OK/キャンセルを選択しなければなりません。この選択操作をリモートコントローラで行うには、[OK] の場合は「MENU」釦を、また [キャンセル] の場合は「ESC」釦を押してください。

本体では▲▼◀▶釦でカーソルを [OK] または [キャンセル] に移動し、「ENTER」釦を押してください。

マウスでは [OK] または [キャンセル] の上でクリックしてください。

4-2. PTZ 制御

PTZ 機能を持ったカメラはリモートコントローラまたはマウスで簡単に制御することができます。

制御する PTZ カメラは、予め正しく接続、またカメラ番号に合わせたアドレス設定がされていなければなりません。

詳しくは使用する PTZ カメラの取扱説明書を参照してください。

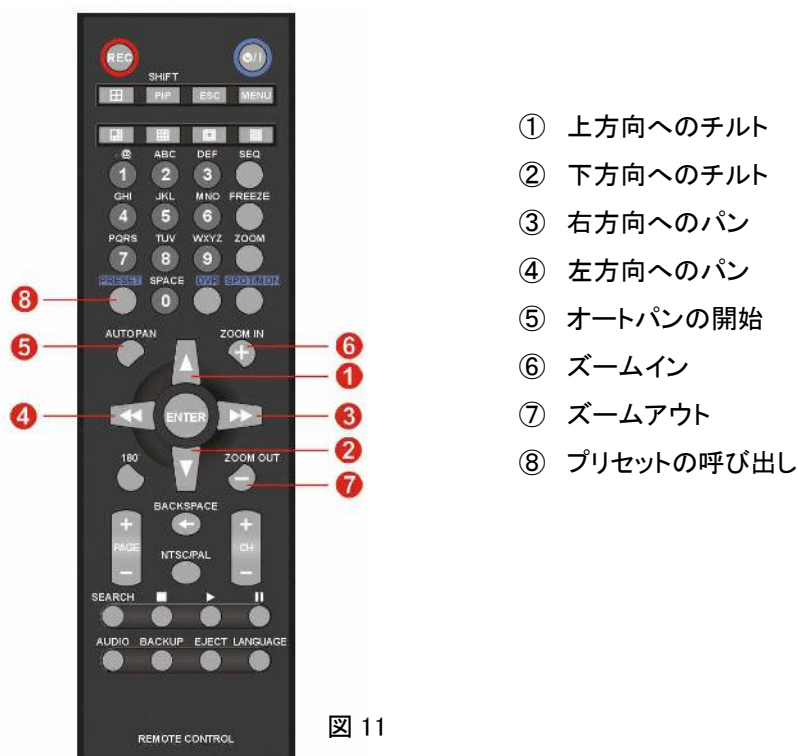
4-2-1. PTZ 制御可能モード

ライブ映像監視モードで、制御する PTZ カメラをアクティブ (3-6. **アクティブカメラ** 参照) にしてください。

リモートコントローラで PTZ の主な機能を実行することができます。

4-2-2. PTZ の操作

リモートコントローラで実行できる PTZ の機能は下図のとおりです。



マウスではマウスメニューの中から [ズーム] を選択すると、画面に操作パッドが表示されます。それぞれの釦の上でクリックし、PTZ の操作をします。マウスではオートパンの操作とプリセットの呼び出しはできません。



4-2-3. プリセットの呼び出し

予め設定されたプリセット位置を呼び出すには、まずリモートコントローラの「PRESET」釦を押して、プリセットモードにしてください。「1」～「9」、「0」の数字釦で「0」「1」～「6」「4」の番号を入力すると、その番号に設定されたプリセット位置に PTZ が自動的に旋回します。

4-3. 録画

4-3-1. 録画開始

DVRは電源を投入すると自動的にスケジュール録画モードになります。本体またはリモートコントローラの「REC」釦を押すと、スケジュール録画モードからマニュアル録画モードに変わり、もう一度「REC」釦を押すとスケジュール録画モードに戻ります。

4-3-2. マニュアル録画

マニュアル録画は、スケジュールテーブルで録画しない時間帯に設定されていても、緊急に録画する必要が生じたときなどに使用します。本体またはリモートコントローラの「REC」釦を押すと、予め設定された録画フレームレートで、すべてのカメラ映像を録画します。但し、録画設定で録画モードをオフに設定されたカメラの映像は録画されません。

もう一度「REC」釦を押すとマニュアル録画モードからスケジュール録画モードに戻ります。

マウスではこの操作はできません。

4-3-3. スケジュール録画

本機は電源を投入すると自動的にスケジュール録画モードになり、スケジュールテーブルに予め設定されたスケジュールに基づいて録画動作を開始します。

スケジュールテーブルには、曜日・時間ごとに [通常録画]、[アラーム録画]、[モーション録画]、[録画しない] のいずれかがプログラムできます。

4-3-4. アラーム録画

本体背面パネルのアラーム入力端子に接続された外部アラーム(接点)が動作すると録画を開始します。

アラーム録画をするためには、予め [アラーム入カタイプ]、[アラーム録画時間] が正しく設定されていなければなりません。

外部アラームが動作すると、該当するカメラ映像の下部に黄色のベルの形をしたアイコンが表示されます。

4-3-5. モーション録画

本機がカメラ映像の中に何らかの動き(モーション)を検知すると録画を開始します。

モーション録画をするためには、予め [モーション検知有効]、[モーション検知感度]、[モーション検知範囲]、[アラーム録画時間] が正しく設定されていなければなりません。

モーションが検知されると、該当するカメラ映像の下部に黄色の人の形をしたアイコンが表示されます。

4-4. 再生

本機は、録画中に過去の録画データを再生することができます。

従って再生のために録画を停止する必要はありません。

録画データを再生するには、本体またはリモートコントローラの再生「▶」釦を押してください。マウスではマウスメニューの中の [再生] を選択してください。図 13 の再生検索画面が表示されます。録画データの検索方法を選択してください。

再生						
時間検索	ENTER					
イベント検索	ENTER					
録画検索	ENTER					
日付検索	ENTER					
最初の録画	2009/08/07 08:50:21					
最後の録画	2009/08/21 10:10:47					
2009/08						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図 13

4-4-1. 時間検索

録画データの日付と時刻を指定して再生します。指定された時刻の録画データから再生が開始します。

本体の「▲」「▼」釦またはリモートコントローラの「▲」「▼」釦で [時間検索] を選択し「ENTER」釦を押してください。

マウスでは [時間検索] の右にある [ENTER] をクリックしてください。

時間検索画面が表示されます。

表示された日付時刻を、再生を開始させたい日付時刻に書き換えて

ください。本体の「▲」「▼」釦またはリモートコントローラの「▲」「▼」釦

でカーソルが移動し、本体の「◀」「▶」釦、またはリモートコントローラの「◀」「▶」釦でカーソルのある場所の数値が増減します。

マウスでは、書き換えたい年月日時分秒の位置でクリックしカーソルを移動させた後、右にある◀▶釦をクリックして数値を増減してください。

再生を開始させたい日付時刻を設定したら、本体の「▲」「▼」釦またはリモートコントローラの「▲」「▼」釦で、カーソルを [OK] に移動し「ENTER」釦を押してください。マウスでは [OK] の上でクリックしてください。

指定された日付時刻から再生が始まります。

再生を停止するには本体またはリモートコントローラの停止「■」釦を押してください。マウスでは画面下部の■釦をクリックしてください。時間検索画面が表示されます。別の日付時刻の録画データを再生させるには、上記の方法で再生させる日付時刻をもう一度設定します。再生を完全に終了するには本体またはリモートコントローラの「ESC」釦を押すか、マウスを [CANCEL] の上でクリックしてください。再生検索画面が表示されますので同様に本体またはリモートコントローラの「ESC」釦を押すか、マウスを [CANCEL] の上でクリックしてください。再生が終了し監視画面に戻ります。



図 14

4-4-2. イベント検索

本機には、モーション検知、外部アラーム動作のイベント情報が、発生の日付時刻、発生したカメラ番号のデータとともにイベントリストとして記憶されており、イベントリストからイベント発生時の録画データを簡単に検索・再生することができます。

再生検索画面から [イベント検索] を選択すると図 15 のイベント検索画面が表示されます。この画面で、開始・終了の日付時刻を設定することにより、検索するイベントを絞り込むことができます。絞り込みの日付時刻を設定し画面下部 [OK] を選択またはクリックすると、設定された日付時刻範囲内のイベントリストが表示されます。本体の「▲」「▼」釦またはリモートコントローラの「▲」「▼」釦で再生するイベントへカーソルを

移動し、「ENTER」釦を押してください。選択したイベントの発生時刻から再生が始まります。

再生を停止するには本体またはリモートコントローラの停止「■」釦を押してください。マウスでは画面下部の■釦をクリックしてください。イベント検索画面が表示されます。別の日付時刻の録画データを再生させるには、上記の方法でもう一度イベントを選択します。再生を完全に終了するには本体またはリモートコントローラの「ESC」釦を押すか、マウスを [CANCEL] の上でクリックしてください。再生検索画面が表示されますので同様に本体またはリモートコントローラの「ESC」釦を押すか、マウスを [CANCEL] の上でクリックしてください。再生が終了し監視画面に戻ります。

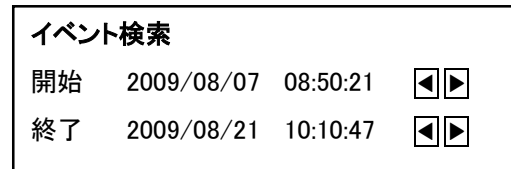


図 15

イベント検索		
録画時間	イベント	
1/1		
2009/08/09 13:43:16	モーション.CH.01	
2009/08/12 06:12:57	アラーム .CH.02	
2009/08/14 16:39:25	モーション.CH.01	
2009/08/19 22:00:14	モーション.CH.02	
2009/08/20 11:09:43	モーション.CH.03	

図 16

4-4-3. 録画検索

再生検索画面から[録画検索]を選択すると、録画検索画面に「REC」釦でマニュアル録画した録画リストが表示されます。本体の「▲」「▼」釦またはリモートコントローラの「▲」「▼」釦で再生する録画データへカーソルを移動し、「ENTER」釦を押してください。選択した録画データが再生されます。

再生を停止するには本体またはリモートコントローラの停止「■」釦を押してください。マウスでは画面下部の■釦をクリックしてください。録画検索

画面が表示されます。別の録画データを再生させるには、上記の方法でもう一度録画データを選択します。再生を完全に終了するには本体またはリモートコントローラの「ESC」釦を押すか、マウスを[CANCEL]の上でクリックしてください。再生検索画面が表示されますので同様に本体またはリモートコントローラの「ESC」釦を押すか、マウスを[CANCEL]の上でクリックしてください。再生が終了し監視画面に戻ります。

録画検索	
録画時間	
1/1	
2009/08/09	13:43:16
2009/08/12	06:12:57
2009/08/14	16:39:25
2009/08/19	22:00:14
2009/08/20	11:09:43

図 17

4-4-4. 日付検索

再生検索画面から[日付検索]を選択すると、カーソルが年の位置に表示されます。再生する日付の年と月を本体の「▲」「▼」「◀」「▶」釦、またはリモートコントローラの「▲」「▼」「◀」「▶」釦で選択してください。選択された年月のカレンダーがその下に表示されます。カレンダーは録画データのある日付が黄色で表示されています。本体の「◀」「▶」釦、またはリモートコントローラの「◀」「▶」釦で再生する日付にカーソルを移動し、「ENTER」釦を押してください。選択された日付の一番早い時刻の録画データから再生されます。

再生						
時間検索						ENTER
イベント検索						ENTER
録画検索						ENTER
日付検索						ENTER
最初の録画	2009/08/07	08:50:21				
最後の録画	2009/08/21	10:10:47				
2009/08						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図 18

再生を停止するには本体またはリモートコントローラの停止「■」釦を押してください。マウスでは画面下部の■釦をクリックしてください。再生検索画面が表示されます。別の録画データを再生させるには、上記の方法でもう一度日付を選択します。再生を完全に終了するには本体またはリモートコントローラの「ESC」釦を押すか、マウスを[CANCEL]の上でクリックしてください。再生が終了し監視画面に戻ります。

5. 機器設定

5-1. 設定メニュー

本体またはリモートコントローラの「MENU」鈕を押してください。マウスではマウスメニューの中の [設定] を選択してください。画面に設定メニューが表示されます。

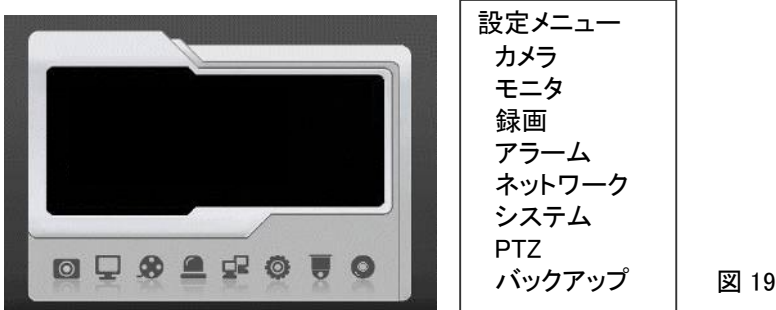


図 19

本体の「◀」「▶」鈕、またはリモートコントローラの「◀」「▶」鈕で設定する項目を選択し、「ENTER」鈕を押してください。マウスでは、設定する項目のアイコンをクリックしてください。

5-2. カメラ設定



図 20

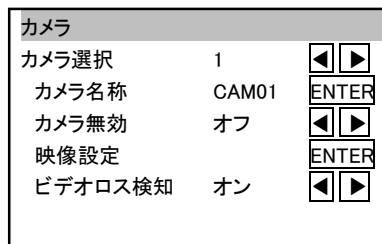


図 21

5-2-1. カメラ選択

設定するカメラ番号を選択します。

選択肢 : 1、2、3、4、全部

5-2-2. カメラ名称 [カメラ選択] で [全部] を選択したとき、カメラ名称の項目は表示されません。

カメラ名称を選択して「ENTER」を押します。

任意の名称を入力します。文字数は最大 12 文字です。

挿入 CAM01

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	=	←	→	Back	戻る
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	{	}	←→	→	Cursor	カーソル
A	S	D	F	G	H	J	K	L	;	`	:	OK	→	Enter	確認
Z	X	C	V	B	N	M	<	>	/			←2→	→	Page	ページ

図 22

← Back : 青色のカーソルが表示され、ひとつ前のデータが消去されます。

←→ Cursor : ENTER でカーソルが移動します。

←2→Page : ENTER でページ送りができます。

終了するときは「ESC」を押してください。一つ前の画面に戻ります。

5-2-3. カメラ無効

モニタにカメラのライブ映像を表示するかしないかを選択します。[オン] に設定しても録画・再生は可能です。

この機能は、プライバシー・機密保持を考慮し、関係者以外の人々がライブ映像を見てしまうことを防ぎます。

オン : 表示しない

オフ : 表示する

5-2-4. 映像設定

カメラ映像のコントラスト、明るさ、色合いなどを調節します。

映像設定		
コントラスト	50	◀▶
明るさ	50	◀▶
色相	50	◀▶
彩度	50	◀▶
初期値に戻す		ENTER

図 23

5-2-5. ビデオロス検知

本機が入力信号の無いことを検知し、モニタ上に「VIDEO LOSS」と表示するかしないかを選択します。

- オン : 表示する
- オフ : 表示しない

すべての項目の設定が終了したら、設定メニュー下部の「OK」にカーソルを移動し「ENTER」鈕を押してください。次に「ESC」鈕を押すと設定メニューの画面が消えます。

5-3. モニタ設定



図 24

モニター		
VGA インターレース解除	オン	◀▶
VGA エッジ保護	オン	◀▶
VGA 動体補正	オン	◀▶
VGA フィルムモード	オン	◀▶
VGA シャープネス強調	オン	◀▶
VGA 水平輪郭補正	オン	◀▶
VGA 解像度	SVGA	◀▶
メインモニターアーム切替設定		ENTER
メインモニターケース時間	4 秒	◀▶
モニター省エネモード	スタンバイ	◀▶
モニター省エネ開始時間	オフ	◀▶

図 25

5-3-1. VGA の設定

本機は、豊富な機能を持った VGA エンジンを搭載しており、VGA 出力から最良の映像が得られるよう細かな設定が可能です。

	オフ	オン
インターレース解除		
エッジ保護		
動体補正		
フィルムモード		
シャープネス強調		
水平輪郭補正		

図 26

5-3-2. VGA 解像度

VGA 出力の解像度を次の中から選択できます。

VGA 640 x 480
SVGA 800 x 600
XGA 1024 x 768
SXGA 1280 x 1024

5-3-3. メインモニタ アラーム切替設定

図 25 の [メインモニタ アラーム切替設定] にカーソルを移動し、「ENTER」を押して図 27 を表示します。

メインモニタ アラーム切替時間を次の中から選択し設定します。

切替時間 : オフ、1、2、3、4、5、6、7秒

アラームが発生すると、設定された時間だけ該当するカメラ映像がフル画面で表示されます。[オフ] を選択すると、アラームが発生しても、映像は切り替わりません。

上記で設定した内容をすべてのカメラに適用する場合は、[すべてのチャンネルを選択] の「ENTER」を押してください。個々のカメラに対し適用する場合は適用するカメラ番号をCH1～CH4の中から選び、選択ボックスにチェックをいれてください。

選択したカメラをすべて解除するには、[すべてのチャンネルをキャンセル] の「ENTER」を押してください。

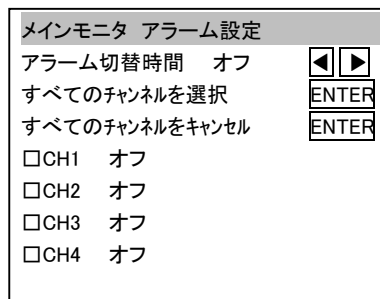


図 27

5-3-4. メインモニタ シーケンス時間

メインモニタの映像をフル画面で自動的に切り替えて表示させる時の切り替え時間を設定します。

選択肢 : 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10秒

シーケンシャル表示の方法は、4-1-3. シーケンシャル表示 を参照ください。

5-3-5. モニタ 省エネモード

本機はDPMS(ディスプレイの電源管理に関するVESA規格)に対応しています。DPMSに対応した液晶ディスプレイをメインモニタに使用した場合、本機をしばらく操作しないしていると自動的に省エネモードに移行します。

省エネモードは次の2種類から選択します。

省エネモード : スタンバイ、サスペンド

	水平同期	垂直同期	消費電力	復帰時間
オン(通常動作)時	オン	オン	100%	-
スタンバイ時	オフ	オン	80%以下	1 秒
サスペンド時	オン	オフ	30W以下	5 秒

図 28

液晶ディスプレイは、次のいずれかの場合に省エネモードから通常動作に復帰します。

- (1) マウスの操作
- (2) モーション検知または外部アラームの発生
- (3) 前面パネルの何らかの操作

5-3-6. モニタ 省エネ時間

何も操作しなくなってから省エネモードに移行するまでの時間を設定します。

選択肢 : オフ、1～60秒 (オフに設定すると省エネモードには移行しません。)

すべての項目の設定が終了したら、設定メニュー下部の「OK」にカーソルを移動し「ENTER」鈕を押してください。次に「ESC」鈕を押すと設定メニューの画面が消えます。

5-4. 録画設定



図 29

録画		
カメラ選択	1	◀ ▶
画質	高	◀ ▶
フレームレート	30/120	ENTER
録画モード	スケジュール	◀ ▶
ポストアラーム録画	10 秒	◀ ▶
音声	オン	◀ ▶
解像度	320x240	◀ ▶
GOP	8	◀ ▶
スケジュールテーブル		ENTER
HDD 上書き	オン	◀ ▶
限定録画	オフ	◀ ▶

図 30

5-4-1. カメラ選択

設定するカメラ番号を選択します。

選択肢 : 1、2、3、4、全部

画質、フレームレート、録画モード、ポストアラーム録画はカメラ毎に設定できます。

5-4-2. 画質

録画画質を選択します。

選択肢 : 最高(画質)、高(画質)、標準(画質)、低(画質)

5-4-3. フレームレート

1 秒間に録画するコマ数(フレームレート)を設定します。

カメラ毎及び合計の最大フレームレートは解像度により異なります。

解像度	最大フレームレート カメラ毎	最大フレームレート 合計
320 x 240	30	120
720 x 240	15	60
720 x 480	8	30

図 31

[フレームレート] にカーソルを合わせ「ENTER」を押すとフレームレート設定画面が表示されます。

フレームレート			
CH1	30	◀	▶
CH2	30	◀	▶
CH3	30	◀	▶
CH4	30	◀	▶
<input type="checkbox"/> 自動			
合計	120/120		

図 32

解像度 320 x 240 時

フレームレート			
CH1	15	◀	▶
CH2	15	◀	▶
CH3	15	◀	▶
CH4	15	◀	▶
<input type="checkbox"/> 自動			
合計	60/60		

図 33

解像度 320 x 240 時

フレームレート			
CH1	8	◀	▶
CH2	7	◀	▶
CH3	8	◀	▶
CH4	7	◀	▶
<input type="checkbox"/> 自動			
合計	30/30		

図 34

解像度 320 x 240 時

設定するチャンネルにカーソルを合わせ、◀ ▶ 釦を押して、各カメラのフレームレートを設定してください。

[自動] を選択すると、各カメラのフレームレートが自動的に最大になります。

5-4-4. 録画モード

スケジュールテーブルに設定されたプログラムに従って自動録画するか、全く録画をしないかを選択します。

選択肢 : スケジュール、オフ

5-4-5. ポストアラーム録画

モーション検知または外部アラーム発生後、何秒間録画するかを設定します。

選択肢 : 10~100 秒 (5 秒ステップ)、オフ

オフに設定すると、アラーム録画はしません。

5-4-6. 音声

音声を記録(録音)するかしないかを選択します。

- オン : 録音する
- オフ : 録音しない

5-4-7. 解像度

録画解像度を設定します。

- 選択肢 : 320 x 240 (CIF)、720 x 240 (フィールド)、720 x 480 (Full D1)

5-4-8. GOP(Group of Pictures)

H.264 や MPEG-4 などの圧縮技術で録画する場合、まず基準となるフル画面の静止画像(I フレーム)を圧縮録画し、その後の数画面は映像の変化分だけ(P フレーム)を圧縮録画します。1 枚の I フレームとそれに続く数枚の P フレームで1つのグループを構成し、1 グループ内の I フレームと P フレームの合計枚数を GOP と呼びます。

本機では、GOP は、設定されたフレームレート・解像度などから最適値が自動的に設定されます。

5-4-9. 解像度

常時録画、アラーム録画などの録画方法を曜日・時間毎に細かく設定し、自動で録画させることができます。

設定された録画方法は、設定画面上で色分け表示されます。

録画メニューの中の [スケジュールテーブル] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押してください。スケジュールテーブルが表示されます。

時間毎に録画方法を設定する場合は、カーソルを [スケジュールの編集] に合わせ、「ENTER」釦を押してください。白いカーソルがテーブル上に表示されます。本体の「▲」「▼」「◀」「▶」釦またはリモートコントローラの「▲」「▼」「◀」「▶」釦で白いカーソルを編集したい位置に移動し、「ENTER」釦を押してください。「ENTER」釦を押す度にカーソル位置(時間帯)の□の表示色が変わり、それに伴って録画方法も変わります。

スケジュールテーブル							
スケジュールの編集							
	0	4	8	12	16	20	24
月	■	■	■	■	■	■	■
火	■	■	■	■	■	■	■
水	■	■	■	■	■	■	■
木	■	■	■	■	■	■	■
金	■	■	■	■	■	■	■
土	■	■	■	■	■	■	■
日	■	■	■	■	■	■	■

□ ■ 常に □ ■ センサ
□ ■ モーション □ ■ 記録しない
すべてに適用

図 35

すべての曜日のすべての時間帯を同じ録画方法にするには、カーソルを [□ ■ 常に]、[□ ■ モーション]、[□ ■ センサ]、[□ ■ 記録しない] のいずれかに合わせ「ENTER」釦を押して を入れ、カーソルを [すべてに適用] に合わせて「ENTER」釦を押してください。

5-4-10. HDD 上書き

HDD に録画データを上書きするかしないかを設定します。上書きしないに設定すると、HDD に録画データが一杯になった時点で録画が停止します。

- オン : 上書きする
- オフ : 上書きしない

5-4-11. 限定録画

録画データに有効期限を設定することができます。有効期限を過ぎたデータにはアクセスすることができません。

- 選択肢 : 1~365 日、オフ

オフに設定すると、録画データに有効期限は設定しません。

すべての項目の設定が終了したら、設定メニュー下部の「OK」にカーソルを移動し「ENTER」釦を押してください。次に「ESC」釦を押すと設定メニューの画面が消えます。

5-5. アラーム設定



図 36

アラーム		
カメラ選択	1	◀▶
アラーム入カタイプ	N.O.	◀▶
モーション検知有効	オン	◀▶
モーション検知感度	標準	◀▶
モーション検知範囲		ENTER
モーション検知追跡	オフ	◀▶
ブザータイマ	5 秒	◀▶
アラーム出力時間	5 秒	◀▶
ブザー音	オン	◀▶
ボタン操作音	オン	◀▶

図 37

5-5-1. カメラ選択

設定するカメラ番号を選択します。

選択肢 : 1、2、3、4、全部

アラーム入カタイプ、モーション検知、ブザータイマ、アラーム録画時間はカメラ毎に設定できます。

5-5-2. アラーム入カタイプ

使用する外部アラームの接点の種類を選択します。

選択肢 : 無効、N.O.、N.C.

無効 : 外部アラームを使用しない場合。

N.O. : 使用する外部アラームの接点が通常時開放、発報時閉塞の場合。

N.C. : 使用する外部アラームの接点が通常時閉塞、発報時開放の場合。

5-5-3. モーション検知有効

オン : モーション検知機能が有効になります。

オフ : モーション検知機能が無効になります。

5-5-4. モーション検知感度

モーション検知の感度を設定します。(8 段階)

選択肢 : 低、LEVEL2、LEVEL3、標準、LEVEL5、LEVEL6、LEVEL7、最高

5-5-5. モーション検知範囲

カーソルを [モーション検知範囲] に合わせ「ENTER」鈕を押すと、5-5-1 で選択したカメラの映像の上に薄い緑色のブロックが横 30 x 縦 24 表示され、画面中央付近のブロック上に青色のカーソルが現れます。カーソルは本体の「▲」「▼」「◀」「▶」鈕またはリモートコントローラの「▲」「▼」「◀」「▶」鈕で自由に移動できます。

① 検知範囲の設定

画面に薄い緑色のブロックが表示されている状態の時、「MENU」鈕を押して表示される図 38 のポップアップメニューの中から [モーション設定] を選択してください。

検知させたい範囲の左上の位置にあるブロックまでカーソルを移動し「ENTER」鈕

を押し、次に検知させたい範囲の右下の位置にあるブロックまでカーソルを移動し

「ENTER」鈕を押してください。囲まれた範囲が検知範囲となり、画面では薄い緑色が透明に変わります。

別の場所を検知範囲に設定する場合は、この操作を繰り返してください。

モーション設定
モーションクリア
すべて設定
すべてクリア
戻る

図 38

② 検知範囲のクリア

一旦設定した検知範囲を修正するために一部分をクリアには、「MENU」鈕を押して図 38 のポップアップメニューを表示させ、[モーションクリア] を選択してください。クリアしたい範囲の左上の位置にあるブロックまでカー

ソルを移動し「ENTER」鈕を押し、次にクリアしたい範囲の右下の位置にあるブロックまでカーソルを移動し

「ENTER」鈕を押してください。囲まれた範囲がクリアされ、ブロックが再び薄い緑色になります。

③ 全画面の設定

「MENU」釦を押して表示される図 38 のポップアップメニューの中の [すべて設定] を選択すると、画面全部が検知範囲になります。

④ 全画面のクリア

「MENU」釦を押して表示される図 38 のポップアップメニューの中の [すべてクリア] を選択すると、設定された検知範囲がすべてクリアされます。

5-5-6. モーション検知追跡

オン：モーションを検知した部分が画面上で赤く表示されます。

オフ：モーションを検知しても映像に変化はありません。(人の形をしたアイコンは表示されます。)

5-5-7. ブザータイマ

外部アラームの発生またはモーション検知の際、ブザーを鳴らす時間を設定します。

選択肢：1～100 秒、無効

無効に設定するとアラームが発生してもブザーは鳴りません。

5-5-8. アラーム出力時間

外部アラームの発生またはモーション検知の際のアラーム出力継続時間を設定します。

選択肢：5～100 秒、無効

無効に設定するとアラーム出力は機能しません。

5-5-9. ブザー音

オン：ブザー機能が有効になります。

オフ：ブザー機能が無効になります。

5-5-10. ボタン操作音

ボタン操作をした時に音を鳴らすか鳴らさないかを選択します。

選択肢：オン、オフ

すべての項目の設定が終了したら、設定メニュー下部の「OK」にカーソルを移動し「ENTER」釦を押してください。次に「ESC」釦を押すと設定メニューの画面が消えます。

5-6. ネットワーク設定

本機を LAN またはインターネット回線に接続し遠隔監視するための設定をします。

ネットワークおよび IP アドレスについてはネットワーク管理者にご相談ください。



図 39

ネットワーク		
IP モード	STATIC	◀▶
HTTP ポート	80	◀▶
映像ポート	3100	◀▶
IP アドレス	192.168.1.111	ENTER
サブネットマスク	255.255.255.0	ENTER
ゲートウェイ	192.168.1.1	ENTER
DNS サーバ	168.95.192.1	ENTER
DDNS		ENTER
PPPOE		ENTER
PPPOE	0.0.0.0	
MAC	00:0F:FC:31:03:FD	

図 40

5-6-1. IP モード

接続する回線の IP モードを選択します。

選択肢 : STATIC(固定)、DHCP、PPPOE

5-6-2. HTTP ポート

HTTP のためのポートを設定します。通常はポート 80 を使用します。

5-6-3. 映像ポート

映像情報通信のためのポートを設定します。通常はポート 3100 を使用します。

5-6-4. IP アドレス

本機へアクセスするための IP アドレスを設定します。ルータを使用する場合としない場合とでは設定方法が異なります。設定する IP アドレスについてはネットワーク管理者にご相談ください。

5-6-5. サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にご相談ください。

5-6-6. ゲートウェイ

ゲートウェイのアドレスを設定します。設定するアドレスについてはネットワーク管理者にご相談ください。

5-6-7. DNS サーバ

DNS サーバのアドレスを設定します。設定するアドレスについてはネットワーク管理者にご相談ください。

5-6-8. DDNS

本機にアクセスする際に、IP アドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。このサービスを使用するにはプロバイダへの登録が必要です。

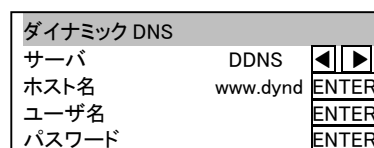


図 41

[DDNS] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すと [ダイナミック DNS]

設定画面が表示されます。[サーバ] に DDNS を選択し、プロバイダから提供される [ホスト名]、[ユーザ名]、[パスワード] を設定してください。

このサービスを使用しない場合は [サーバ] に無効を選択し、それ以外の項目は設定する必要がありません。

5-6-9. PPPOE

インターネット接続に PPPOE を使用する場合は [PPPOE] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すと [PPPOE] 設定画面が表示されます。プロバイダから提供される [ユーザ名]、[パスワード] を設定してください。

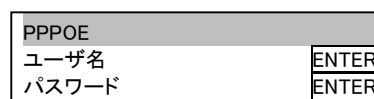


図 42

PPPOE で接続すると [PPPOE] の 2 行目に、接続時の IP アドレスが表示されます。

PPPOE 接続を使用しない場合は、この項目に設定は必要ありません。

5-6-10. MAC

本機の MAC アドレスを表示しています。MAC アドレスは機器 1 台毎に設定された固有の ID 番号で、変更することはできません。MAC アドレスを記載したラベルが、本体の背面パネルにも貼ってあります。

すべての項目の設定が終了したら、設定メニュー下部の「OK」にカーソルを移動し「ENTER」鈕を押してください。次に「ESC」鈕を押すと設定メニューの画面が消えます。

5-7. システム設定



図 43

システム		
日付時刻		ENTER
HDD 情報		ENTER
パスワード/アクセス		ENTER
ログビュー		ENTER
デフォルト		ENTER
DVR/485 ID	オフ	◀ ▶
映像方式	NTSC	◀ ▶
ファームウェア		ENTER
言語	Japanese	◀ ▶
ライブ音声	オン	◀ ▶

図 44

5-7-1. 日付時刻

現在の日付時刻またその表示方法を設定します。

[日付時刻] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すと [日付時刻]

設定画面が表示されます。

① 日付の設定

設定する年、月または日の位置にカーソルを移動し、「◀」「▶」鈕で値を変更してください。

② 時刻の設定

設定する時、分または秒の位置にカーソルを移動し、「◀」「▶」鈕で値を変更してください。

③ 配列

日付表示の配列を設定します。

選択肢：YYYY/MM/DD(年月日)、DD/MM/YYYY(日月年)、MM/DD/YYYY(月日年)

④ 表示

日付時刻をライブ映像監視画面に表示するかしないかを設定します。

オン：表示する

オフ：表示しない

オフ(表示しない)に設定しても、録画データには日付時刻情報は残ります。

⑤ 夏時間

夏時間を適用する地域を選択します。夏時間を適用しない日本では [オフ] に設定してください。

日付時刻		
日付	2009/10/28	◀ ▶
時刻	10 : 42 : 54	◀ ▶
配列	YYYY/MM/DD	◀ ▶
表示	オン	◀ ▶
夏時間	オフ	◀ ▶

図 45

5-7-2. HDD 情報

搭載された HDD の情報表示、HDD のフォーマット、録画時間(目安)の表示を行います。

システム設定画面の中の[HDD 情報] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すと [HDD 情報] 画面が表示されます。

① 使用 HDD の情報

本機には HDD が 1 台だけ搭載できます。搭載された HDD の有効容量が [プライマリマスター] の [サイズ] に表示されます。

その他の [プライマリスレーブ]、[セコンダリマスター]、[セコンダリスレーブ] の [サイズ] は常に [NONE] と表示されています。

HDD 情報		
プライマリマスター		
サイズ	231GB	
プライマリスレーブ		
サイズ	NONE	
セコンダリマスター		
サイズ	NONE	
セコンダリスレーブ		
サイズ	NONE	
HDD フォーマット		ENTER
およその録画時間	440	
およその録画日数	18	
平均録画サイズ	9.0KB/P	
カウンターリセット		ENTER

図 46

② HDD フォーマット

搭載されている HDD をフォーマットすることができます。

[HDD フォーマット] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すと [ログイン] 画面が表示されますので、パスワードを入力してください。パスワードが正しく入力されると警告画面が表示されます。フォーマットする場合は **YES** を、しない場合は **NO** を選択してください。終了すると [HDD 情報] 画面に戻ります。

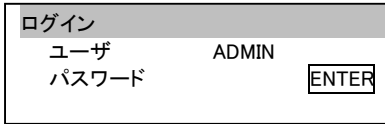


図 47

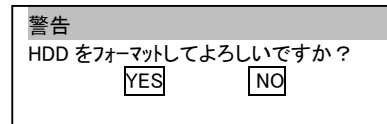


図 48

③ およその録画時間・およその録画日数

搭載されている HDD に録画できる時間・日数は録画する映像により異なります。現在入力されている映像を録画した場合の録画時間・録画日数を、設定されている録画画質・フレームレート・録画解像度などの条件を含め、本機が自動計算し表示します。

④ 平均録画サイズ

現在入力されている映像の 1 コマあたりのデータサイズを表示します。

⑤ カウンタリセット

カーソルを [カウンタリセット] に合わせ「ENTER」鈕を押すと、[およその録画時間]・[およその録画日数]・[平均録画サイズ] の表示が一旦 [0] になり、新たに取り込んだ画像から再計算し、表示します。

5-7-3. パスワード/アクセス

本機を操作するユーザーの権限・パスワードを設定します。

システム設定画面の中の [パスワード/アクセス] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すと、[パスワード/アクセス]画面が表示されます。

① ユーザー

設定するユーザー名を選択します。

選択肢：ADMIN、OPERATOR、GUEST、USER1～12

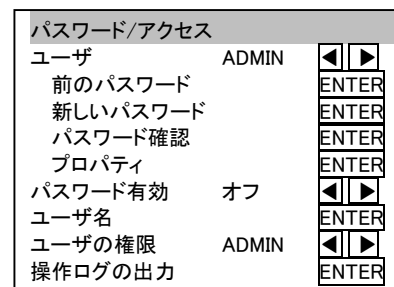


図 49

② 前のパスワード

パスワードを変更する場合は、[前のパスワード] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押し、①で選択したユーザーのこれまでのパスワードを入力してください。初期状態で設定されているパスワードは次のとおりです。

ADMIN：1111、OPERATOR：2222、GUEST：3333、USER1～12：3333

③ 新しいパスワード

[新しいパスワード] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押し、新しく設定するパスワードを入力してください。

④ パスワードの確認

[パスワードの確認] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押し、③で入力した新しく設定するパスワードをもう一度入力してください。

⑤ プロパティ

①で選択したユーザーの権限を細かく設定することができます。

[プロパティ] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すと [プロパティ] 設定画面が表示されます。

表示された個々の操作に対し [オン]、[オフ] を設定し、①で選択したユーザーの権限を決定します。

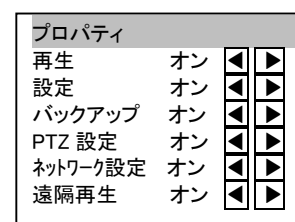


図 50

⑥ パスワード有効

[オン] に設定すると、ある操作をしようとした時、パスワードの入力が要求されます。[オフ] に設定するとパスワードの入力は要求されません。

選択肢：オン、オフ

⑦ ユーザ名

①で [USER1] ~ [USER12] を選択した場合、そのユーザー名を変更することができます。[ユーザ名] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押し、新しく設定するユーザー名を入力してください。

ADMIN、OPERATOR、GUEST はユーザー名を変更することができません。

⑧ ユーザの権限

USER1~USER12 は⑤のプロパティでその権限を細かく設定できますが、ADMIN、OPERATOR、GUEST の権限に合わせる事が簡単にできます。権限を合わせるユーザーを選択します。

選択肢：ADMIN、OPERATOR、GUEST

⑨ 操作ログの出力

①で選択したユーザーの操作ログを USB メモリに出力することができます。正面パネルの USB コネクタに USB メモリを挿入し、[パスワード/アクセス] 設定画面の [操作ログの出力] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押してください。操作ログのデータがダウンロードされます。

5-7-4. ログビュー

[ログビュー] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すと、各種設定変更、停電・ビデオロスなどの異常、ログイン履歴など本機に生じた様々なイベントを、その発生日時と共に画面で確認することができます。

確認できるイベントは次のとおりです。

電源オン、シャットダウン、停電、停電復帰後のファイル修復、HDD フォーマット、
各種設定変更、ログイン、ビデオロス、ウォッチドッグの開始、バックアップの実行

5-7-5. デフォルト

システムを工場出荷状態に戻します。但し [日付時刻]、[IP アドレス]、[映像方式]、[言語] の設定には影響を及ぼしません。

[デフォルト] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すとシステムは工場出荷状態に戻ります。

5-7-6. DVR/485 ID

本機に ID 番号を設定することができます。設定した ID 番号は、1 台のリモートコントローラで複数の DVR を操作する際の DVR の呼び出し、RS-485 で DVR を制御する際の機器識別に使用します。

選択肢：1~255、オフ

オフを選択すると ID 番号は設定されません。

5-7-7. 映像方式

選択肢：NTSC、PAL（日本は NTSC 方式です）

5-7-8. ファームウェア

① USB ファームウェアのアップデート

本機のファームウェアは USB メモリを介して更新が可能です。

USB メモリには、予め最新のファームウェアを保存しておく必要があります。

詳細はお問い合わせください。

ファームウェア	
USB ファームウェアのアップデート	ENTER
設定の出力	ENTER
設定の取り込み	ENTER
ファームウェアバージョン	0.8.2(09.04)
カーネル	2.6.14

図 51

② 設定の出力

本機の各設定情報をUSBメモリに保存しておくことができます。

正面パネルのUSBコネクタにUSBメモリを挿入し、図51の [設定の出力] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押してください。

③ 設定の取り込み

②で保存した設定情報を本機に取り込むことができます。

正面パネルのUSBコネクタにUSBメモリを挿入し、図51の [設定の取り込み] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押してください。

④ ファームウェアバージョン

現在、本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示しています。

⑤ カーネル

現在、本機にインストールされているKERNEL(OSの基本機能を実装したソフトウェア)のバージョンを表示しています。

5-7-9. 言語

メニューなどに使用される言語を選択します。日本語の他、合計 12ヶ国語をサポートしています。

5-7-10. ライブ音声

ライブ音声機能を有効にするか無効にするかを選択します。

オン：音声有効

オフ：音声無効

5-8. PTZ 設定



図 52

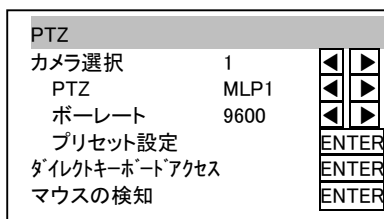


図 53

5-8-1. カメラ選択

設定する PTZ カメラを選択します。

選択肢：1、2、3、4、全部

5-8-2. PTZ

PTZ カメラのプロトコルを選択します。

選択肢：MLP1、MLP2、PELCO D、PELCO P、オフ

5-8-3. ボーレート

プロトコルのボーレートを選択します。

選択肢：2400、4800、9600 (bps)

5-8-4. プリセット設定

PTZ 設定画面のプリセット設定にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押すと、[プリセット設定] 画面が表示されます。[カメラ選択] で選択した PTZ カメラのプリセット位置、動作などを設定します。

プリセット設定		
プリセット番号	1	◀ ▶
静止時間	4	◀ ▶
スピード	4	◀ ▶
位置		ENTER
アイリス		◀ ▶
オートアイリス		ENTER
フォーカス		◀ ▶
オートフォーカス		ENTER
プリセットデータの保存		ENTER
プリセットデータのクリア		ENTER
オートパン		ENTER

図 54

① プリセット番号

設定するプリセット位置の番号を選択します。

選択肢 : 1~64

② 静止時間

①で設定した位置で何秒間停止するかを設定します。

設定範囲 : 0~255 (秒)

③ スピード

PTZカメラが、④で設定する位置に移動するスピードのレベルを選択します。

選択肢 : 1~8

④ 位置

プリセットの位置を設定します。[位置] にカーソルをあわせ「ENTER」釦を押すと、PTZ操作キーパッドが表示されます。

本体の「▲」「▼」「◀」「▶」釦またはリモートコントローラの

「▲」「▼」「◀」「▶」釦で PTZ のアングルを、またリモートコントローラの「ZOOM +」「ZOOM -」釦でズーム位置を設定してください。「ESC」釦を押すと、位置の設定は終了します。

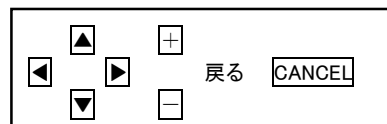


図 55

⑤ アイリス

[アイリス] にカーソルを合わせ「◀」「▶」釦を押すことによりアイリスをマニュアル調整できます。

⑥ オートアイリス

[オートアイリス] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押すと、オートアイリスモードになります。

⑤の方法でアイリスを調整すると、オートアイリスモードは解除されます。

⑦ フォーカス

[フォーカス] にカーソルを合わせ「◀」「▶」釦を押すことによりフォーカスをマニュアル調整できます。

⑧ オートフォーカス

[オートフォーカス] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押すと、オートフォーカスモードになります。

⑦の方法でフォーカスを調整すると、オートフォーカスモードは解除されます。

⑨ プリセットデータの保存

[プリセットデータの保存] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押すと、[確認] の画面が表示され、**YES**を選択すると今設定したプリセットのデータがPTZ内に保存されます。

⑩ プリセットデータのクリア

[プリセットデータのクリア] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押すと、[確認] の画面が表示され、**YES**を選択するとすべてのプリセットのデータがPTZ内から削除されます。

⑪ オートパン

[オートパン] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押すと、PTZはオートパンを開始します。

5-8-5. ダイレクトキーボードアクセス

[ダイレクトキーボードアクセス] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押すと、図 55 の操作キーパッドが表示され、本体の「▲」「▼」「◀」「▶」釦またはリモートコントローラの「▲」「▼」「◀」「▶」釦で PTZ のアングルを、またリモートコントローラの「ZOOM +」「ZOOM -」釦でズーム位置を直接操作することが可能になります。

5-8-6. マウスの検知

[マウスの検知] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押すと、本機に接続されたマウスを認識します。

電源を入れたままの状態、新たにマウスを接続した場合、またマウスを交換した場合などは、この操作で新しいマウスを本機に認識させてください。

5-9. バックアップ



図 56

バックアップ	
デバイス	USB
開始	2009/10/26 10:03
終了	2009/10/26 14:16
ファイルフォーマット	MULTI
デバイス検知	
すべての USB ファイルを削除	
USB 空き容量	1435MB
およそのサイズ	1060MB

図 57

5-9-1. デバイス

録画データのバックアップ方法を選択します。

選択肢 : USB、HTTP ファイル

[USB] : 正面パネルの USB コネクタに USB メモリを挿入してください。挿入された USB メモリが本機に認識されると、[USB 空き容量] に USB メモリの空き容量が表示されます。USB メモリが認識されない場合は [デバイス検知] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押してください。

[HTTP ファイル] : 本機の内部メモリに、バックアップデータを HTTP ファイルとして一時的に保存できます。保存された HTTP ファイルはブラウザを利用して PC にダウンロードできます。

5-9-2. 開始

バックアップする録画データの開始日時を設定します。

本体の「▲」「▼」釦またはリモートコントローラの「▲」「▼」釦でカーソルを移動し、本体の「◀」「▶」釦、またはリモートコントローラの「◀」「▶」釦でカーソルのある場所の数値を設定してください。

5-9-3. 終了

バックアップする録画データの終了日時を設定します。

本体の「▲」「▼」釦またはリモートコントローラの「▲」「▼」釦でカーソルを移動し、本体の「◀」「▶」釦、またはリモートコントローラの「◀」「▶」釦でカーソルのある場所の数値を設定してください。

[開始]、[終了] で設定されたバックアップする録画データの容量は、[およそのサイズ] に表示されます。

5-9-4. FILE FORMAT

[MULTI] に固定されていて変更はできません。

5-9-5. デバイス検知

正面パネルに挿入した USB メモリが本機に自動認識されない場合は [デバイス検知] にカーソルを合わせ「ENTER」釦を押してください。

5-9-6. すべての USB ファイルを削除

[すべての USB ファイルを削除] にカーソルを合わせ「ENTER」鈕を押すと USB メモリ内のデータが削除されます。

5-9-7. USB 空き容量

正面パネルに挿入した USB メモリの空き容量を表示します。

5-9-8. およそのサイズ

設定されたバックアップデータの開始日時から終了日時までのデータサイズを表示します。

バックアップデータの再生方法は 7. **バックアップデータの再生** を参照してください。

すべての項目の設定が終了したら、設定メニュー下部の「OK」にカーソルを移動し「ENTER」鈕を押してください。次に「ESC」鈕を押すと設定メニューの画面が消えます。

6. 遠隔監視

6-1. インターネットを使う前に

6-1-1. 使用条件

インターネット、LAN を介して遠隔操作を行うためには Internet Explorer などのブラウザを使用します。

インターネットで DVR にアクセスするときはルータの次のポートを DVR の IP アドレスに割り当て開放してください。
(DVR のデフォルト IP アドレスは、192.168.1.111 です。)

Port 80(HTML)、Port 3100(映像)

6-1-2. IP スキャン (IPScan)

IPScan は LAN 上のすべての IP デバイスをスキャンしてデバイスリストの中に表示するソフトウェアです。

- ① 本機に付属の CD 中にある IPScan.exe をインストールします。
- ② IPScan を実行すると、デバイスリストの中にすべての IP デバイスが表示されます。

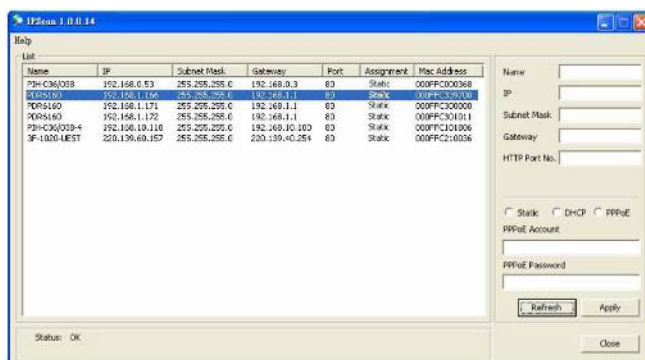


図 58

- ③ デバイスリストから見たい DVR をクリックします。右欄に選択した DVR の IP 設定内容が表示されます。
設定内容を変更したい場合は、右欄の内容を書き換えて「Apply」鈕を押してください。
- ④ 「Refresh」鈕を押すと、変更後の最新の情報がデバイスリストに表示されます。
- ⑤ デバイスリストから見たい DVR をダブルクリックするとブラウザが開き、選択した DVR にアクセスします。

6-1-3. ActiveX プラグインの確認

ActiveX プラグインが使用する PC で有効になっていることを確認してください。

インターネット Explorer の [ツール] から [インターネットオプション] ⇒ [セキュリティ] ⇒ [レベルのカスタマイズ] を選択し、[ActiveX コントロールとプラグイン] を有効に設定します。

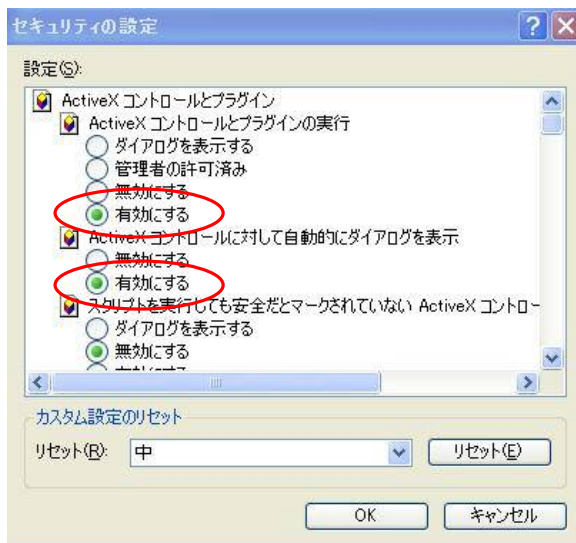


図 59

6-2. 接続

6-2-1. 直接接続

本機と PC を直接接続するときはクロスケーブルを使用してください。

ブラウザを立ち上げ、本機に設定した IP アドレスを入力してください。

6-2-2. LAN 接続

本機と HUB を接続するときはストレートケーブルを使用してください。

ブラウザを立ち上げ、本機に設定した IP アドレスを入力してください。

6-2-3. インターネット接続

本機と HUB を接続するときはストレートケーブルを使用してください。

ブラウザを立ち上げ、プラバイダから提供された固定 IP アドレスを入力してください。

6-2-4. ログオン

ブラウザに IP アドレスが正しく入力されると本機と PC とが接続され、ログオン画面が表示されます。

5-7-3. パスワード/アクセスで設定したユーザー名とパスワードを入力し「OK」鈕を押してください。

初期設定は次の通りです。

ユーザー名	パスワード
ADMIN	1111
OPERATOR	2222
GUEST	3333
USER1~12	3333

ユーザー名とパスワードを正しく入力すると、遠隔監視画面が表示されます。

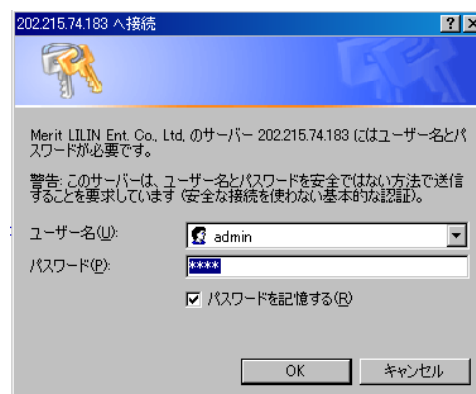


図 60

6-3. 遠隔監視

6-3-1. 遠隔監視画面



6-3-2. 操作パネル

① DVR-ID

本機に設定されたDVR ID番号を表示します。DVR ID番号が設定されていないと単に [DVR] と表示されます。

② VIDEO

映像表示パネルに表示する映像を選択します。

Live Video : ライブ映像を表示します。

Playback : 再生映像を表示します。

③ System

「Configure」鈕をクリックすると各種設定メニューが表示されます。

「H.264 Player」鈕をクリックすると、H.264で画像圧縮された映像データを再生するためのソフトウェアがダウンロードされます。このソフトウェアはバックアップファイルの再生などに使用します。

6-3-3. 画面操作

以下 ①～④ の操作はライブ映像時、再生映像時共通です。

① 画面切り替え

本機にアクセスした際に、映像表示パネルにはライブ映像が4分割で表示されます。

フル画面表示させたい映像の上でダブルクリックをするとその映像がフル画面表示されます。

フル画面表示された映像の上でダブルクリックすると4分割表示に戻ります。

② 静止画の保存

映像表示パネル上でマウスを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。メニューの中の [Save “カメラ名称”] をクリックすると、そのカメラのクリックした瞬間の画像を JPEG ファイルとして PC に保存することができます。

またポップアップメニューの中の [Save All] をクリックすると、4 台のカメラの画像を JPEG ファイルとして一度に保存することができます。



図 62

③ 映像表示パネルの拡大

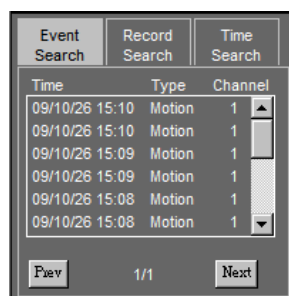
図 62 のポップアップメニューの中から [Show Full Screen] をクリックすると映像表示パネルが PC 画面一杯に拡大され表示されます。拡大された画面の上でマウスをクリックすると、映像表示パネルは元の大きさに戻ります。

④ 音声 オン/オフ

図 62 のポップアップメニューの中から [Audio on/off] をクリックすると音声出力のオン・オフが切り換わります。

6-4. 遠隔再生

操作パネルの [Playback] をクリックすると、操作パネルの下部に再生のための検索画面が表示されます。検索画面のタブを切り替えることにより検索方法を選択できます。



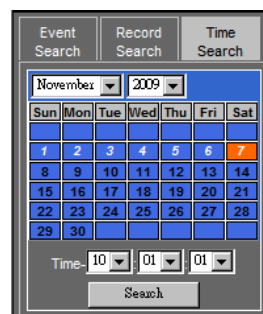
イベント検索

図 63



録画検索

図 64



時間検索

図 65

また、映像表示パネルの下部には再生操作鈕が表示されます。



図 66

6-4-1. イベント検索 (Event Search)

[Event Search] タブをクリックすると、図63のイベントリストが表示されます。リストが複数ページに渡る時は、[Next] をクリックすると次のページへ、また [Prev] をクリックすると前のページに移動します。

リストの中のイベントをクリックすると表示された時間から再生が開始します。

6-4-2. 録画検索 (Record Search)

[Record Search] タブをクリックすると、マニュアル録画をした図64の録画リストが表示されます。リストが複数ページに渡る時は、[Next] をクリックすると次のページへ、また [Prev] をクリックすると前のページに移動します。

リストの中の録画データををクリックすると表示された時間から再生が開始します。

6-4-3. 時間検索 (Time Search)

[Time Search] タブをクリックすると、図65の時間検索画面が表示されます。上部の2つのプルダウンメニューで月と年を選択すると、選択した月のカレンダーが表示されます。録画データのある日付は白く表示されています。検索する日付をクリックし、次にカレンダー下部の3つのプルダウンメニューで再生を開始する時刻を設定してください。設定が終了したら [Search] をクリックしてください。再生が開始します。

再生画面からライブ映像監視画面に戻るには、操作パネルの [Live Video] をクリックしてください。

6-5. 遠隔設定

操作パネルの [Configure] をクリックすると、操作パネル部に設定メニューが表示されます。

Live Video	ライブ映像監視画面に戻ります
Camera Setting	カメラ設定メニュー
General	カメラ設定(一般項目)
Record Setting	録画設定メニュー
General	録画設定(一般項目)
Schedule Table	スケジュールテーブル
Alarm Setting	アラーム設定メニュー
General	アラーム設定(一般項目)
Alarm E-Mail	アラーム E メール
Network Setting	ネットワーク設定メニュー
General	ネットワーク設定(一般項目)
DDNS	DDNS 設定
System Setting	システム設定メニュー
General	サーバ設定
Time	時刻表示
User Setting	ユーザ設定
System Status	システムステータス
Log View	ログビュー
Operator Log View	操作ログビュー
Firmware Update	ファームウェアアップデート
Backup	バックアップ設定メニュー
Backup	バックアップ
Backup File Download	バックアップファイル ダウンロード

図 67

6-5-1. カメラ設定 (Camera Setting)

カメラ設定メニュー [Camera Setting] の [General] をクリックすると、図 68 のカメラ設定画面が表示されます。

① メインモニタ シーケンス時間 (Sequence Time)

メインモニタのシーケンス切り替え時間を設定します。

[Main Monitor Sequence Time] の右にあるプルダウンメニューの中から切り替え時間を選択してください。

選択肢 : 1~10 Sec (秒)

② カメラ名称 (Camera Name)

[Camera Name] の欄にカメラ名称を表示しています。

PC で書き換えが可能です。

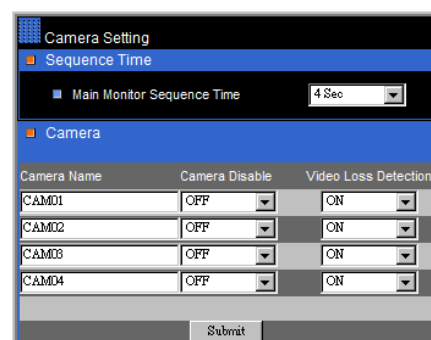


図 68

③ カメラ無効 (Camera Disable)

カメラのライブ映像を表示するかしないかを選択します。[オン] に設定しても録画・再生は可能です。
プルダウンメニューの中からオン [ON] かオフ [OFF] を選択してください。

オン [ON] : 表示しない

オフ [OFF] : 表示する

④ ビデオロス検知 (Video Loss Detection)

入力信号の無いことを検知し、モニタ上に「VIDEO LOSS」と表示するかしないかを選択します。
プルダウンメニューの中からオン [ON] かオフ [OFF] を選択してください。

オン [ON] : 表示する

オフ [OFF] : 表示しない

すべてのカメラ設定が終了したら [Submit] をクリックしてください。今設定した内容が本機に送られ “Setup successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

6-5-2. 録画設定 (Record Setting)

録画設定メニュー [Record Setting] の [General] をクリックすると、図 69 の録画設定画面が表示されます。

① 現在の録画モード (Current Rec Mode)

現在の DVR を録画しているモードを表示しています。
変更するにはプルダウンメニューの中の [Schedule]
か [Manual] を選択してください。

[Schedule] : スケジュール録画

[Manual] : マニュアル録画

② HDD 上書き (HDD Overwritten)

HDD に録画データを上書きするかしないかを設定します。
上書きしないに設定すると、HDD に録画データが一杯になった時点で録画が停止します。

プルダウンメニューの中からオン [ON] かオフ [OFF] を選択してください。

オン [ON] : 上書きする

オフ [OFF] : 上書きしない

③ 解像度 (Resolution)

現在設定されている録画解像度を表示しています。この項目は、PC からは変更できません。

④ 録画モード (Recording Mode)

個々のカメラについて録画モードを設定できます。

プルダウンメニューの中から [Schedule] または [No Recording] を選択してください。

[Schedule] : スケジュール録画

[No Recording] : 録画しない

⑤ 録画画質 (Quality)

個々のカメラについて録画画質を設定できます。

プルダウンメニューの中から [Schedule] または [No Recording] を選択してください。

[Highest] : 最高画質

[High] : 高画質

[Standard] : 標準画質

[Low] : 長時間画質

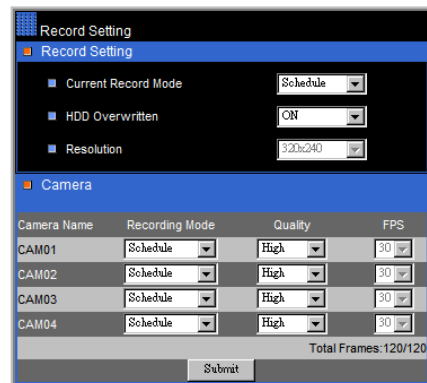


図 69

⑥ フレームレート (FPS)

現在設定されている録画フレームレートを表示しています。この項目は、PC からは変更できません。

すべての録画設定が終了したら [Submit] をクリックしてください。今設定した内容が本機に送られ “Setup successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

6-5-3. 録画スケジュール設定 (Schedule Table)

録画設定メニュー [Record Setting] の [Schedule Table] をクリックすると、図 70 の録画スケジュール設定画面が表示されます。

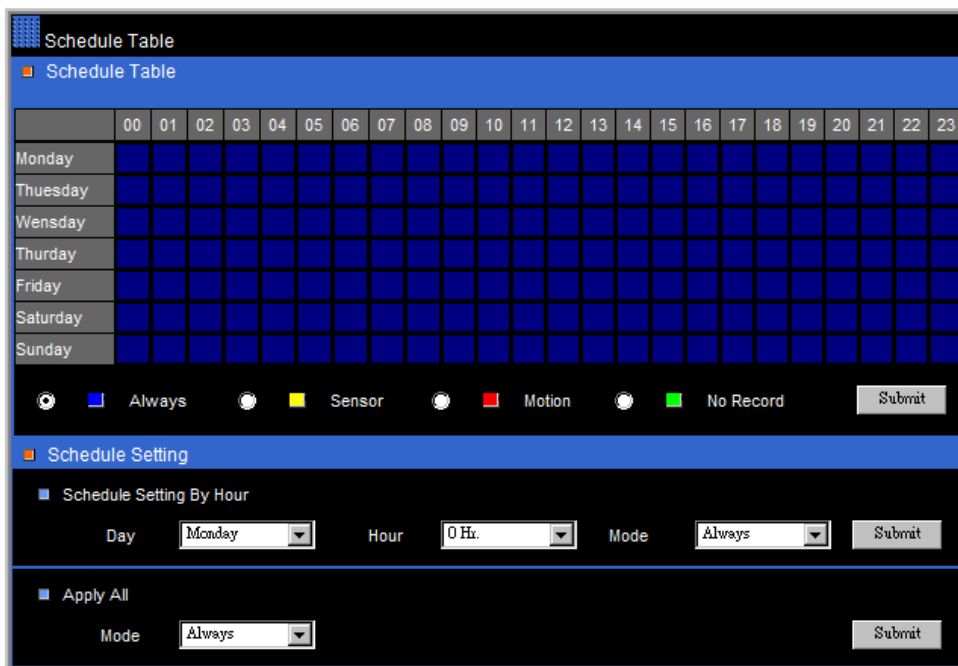


図 70

① スケジュールテーブル (Schedule Table)

スケジュールの編集をスケジュールテーブル上で直接行うことができます。

次の項目を選択し、編集したいマス目上でクリックすると選択した項目に変わります。

設定が終了したら [Submit] をクリックしてください。今設定した内容が本機に送られ “Setup successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

- Always (常時録画)
- Sensor (センサ録画)
- Motion (モーション録画)
- No Record (録画しません)

② 時間毎のスケジュール設定 (Schedule Setting by Hour)

スケジュールの編集をプルダウンメニューにより時間毎に行うことができます。

Day (曜日) : Monday ~ Sunday

Hour (時間) : 0 Hr. ~ 23 Hr.

Mode (録画モード) : Always、Sensor、Motion、No Record

設定が終了したら [Submit] をクリックしてください。今設定した内容が本機に送られ “Setup successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

③ すべてに適用 (Apply All)

下記項目を選択して「Submit」をクリックするとすべての「週間タイマー表」が一度に設定できます。[Submit] をクリックすると今設定した内容が本機に送られ “Setup successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

Always (常時録画)、Sensor (センサ録画)、Motion (モーション録画)、No Record (録画しません)

6-5-4. アラーム設定 (Alarm Setting)

アラーム設定メニュー [Alarm Setting] の [General] をクリックすると、図 71 の録画スケジュール設定画面が表示されます。

Camera Name	Motion Enable	Motion Area	Motion Tracer	Alarm Input Type	Alarm Output Time	Buzzer Output Time
CAM01	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM02	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM03	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec
CAM04	OFF	OFF	OFF	OFF	5 Sec	5 Sec

図 71

Buzzer Enable (ブザー音) : ブザー機能の有効/無効を設定します。

Motion Enable (モーション検知機能) : モーション検知機能の有効/無効を設定します。

Motion Area (モーション範囲) : モーション範囲表示の有効/無効を設定します。

(伝送映像には影響しません。)

Motion Tracer (モーション追跡) : モーション追跡表示の有効/無効を設定します。

(伝送映像には影響しません。)

Alarm Input Type (アラーム入力タイプ) : 外部アラーム入力の種類を選択します。

選択肢 : NO、NC、OFF (オフ)

Alarm Output Time (アラーム出力時間) : 外部アラームまたはモーション検知が働いた際のアラーム出力継続時間を設定します。

選択肢 : 1 秒~100 秒、Always (常に)、OFF (オフ)

Always (常に) に設定すると、本体またはリモートコントローラで何らかの釦操作をするまで、アラーム出力が継続します。

Buzzer Output Time (ブザー出力時間) : 外部アラームまたはモーション検知が働いた際のブザー鳴動継続時間を設定します。

選択肢 : 1 秒~100 秒、Always (常に)、OFF (オフ)

Always (常に) に設定すると、本体またはリモートコントローラで何らかの釦操作をするまで、ブザーが鳴り続けます。

設定が終了したら [Submit] をクリックしてください。今設定した内容が本機に送られ “Setup successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

6-5-5. アラーム E メール (Alarm E-Mail)

アラームが発生した際に、予め登録されたメールアドレスに通知させることができます。

アラーム設定メニュー [Alarm Setting] の [Alarm E-Mail] をクリックすると、図 72 のアラーム E メール設定画面が表示されます。

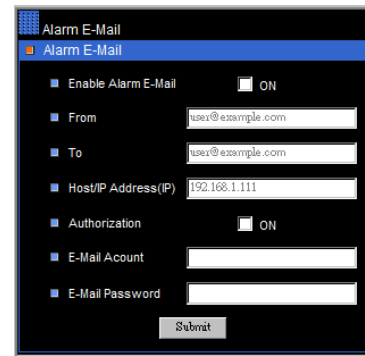


図 72

EnableAlarm E-Mail (アラーム Eメールの有効)

: アラーム E メール機能の有効/無効を設定します。

From (発信元) : 本機の E メールアドレスを設定します。

To (送信先) : 送信先の E メールアドレスを設定します。

Host/IP Address : 本機に設定された IP アドレスを入力します。

Authorization (認証) : ユーザ名とパスワードの認証を行うかを設定します。

E-Mail Account : 送信先の E メールアカウントを設定します。

E-Mail Password : 送信先の E メールアカウントのパスワードを設定します。

設定が終了したら [Submit] をクリックしてください。今設定した内容が本機に送られ “Setup successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

6-5-6. ネットワーク設定 (Network Setting)

ネットワーク設定メニュー [Network Setting] の [General] をクリックし表示されたネットワーク設定画面でネットワークの各種設定をします。

- Connection Method** : 接続方法
- IP Address** : IP アドレス
- Subnet Mask** : サブネットマスク
- Gateway IP Address** : ゲートウェイ IP アドレス
- Default DNS** : DNS 初期値
- Second DNS** : セカンド DNS
- PPPoE Account** : PPPoE アカウント
- PPPoE Password** : PPPoE パスワード
- Video Port** : 映像ポート
- HTTP Port** : HTTP ポート

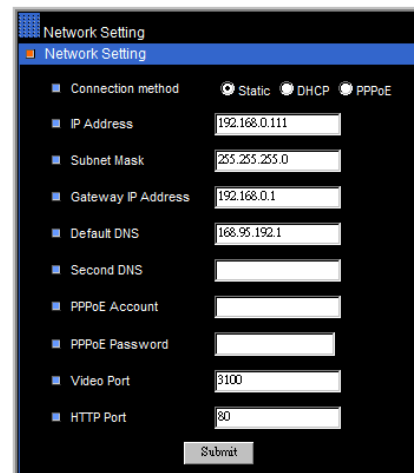


図 73

設定が終了したら [Submit] をクリックしてください。今設定した内容が本機に送られ “Setup successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

6-5-7. DDNS 設定 (DDNS)

ネットワーク設定メニュー [Network Setting] の [DDNS] をクリックし表示された DDNS 設定画面で DDNS の各種設定をします。

- DDNS** : DDNS 機能の有効/無効
- Account** : アカウント
- Password** : パスワード
- Host Name** : ホスト名

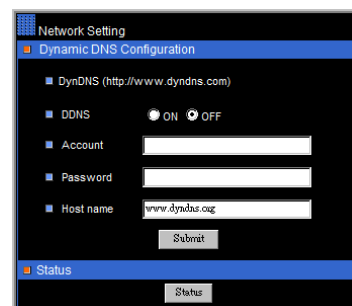


図 74

設定が終了したら [Submit] をクリックしてください。今設定した内容が本機に送られ “Setup successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

6-5-8. システム設定 (System Setting)

システム設定メニュー [System Setting] の [General] をクリックし表示されたサーバ設定画面でサーバの各種設定をします。

- MAC Address :** MAC アドレス(変更できません。)
- Firmware :** 現在のファームウェアバージョンを表示
- DVR/485 ID :** 本機の ID 番号(1~255、OFF)
- Language :** 本 Web サイトで使用する言語
- Max Connections :** 許容同時アクセス数
- Software Reboot :** 本機のリブート

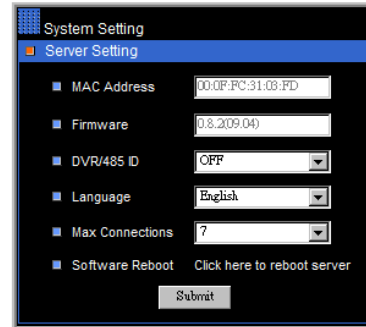


図 75

(リブートした場合は回線が切断されます。遠隔監視を継続するにはもう一度接続する必要があります。)

設定が終了したら [Submit] をクリックしてください。

6-5-9. 時刻表示 (Time)

システム設定メニュー [System Setting] の [Time] をクリックすると本機に設定された現在の日付時刻が表示されます。

表示内容はこの画面では変更できません。

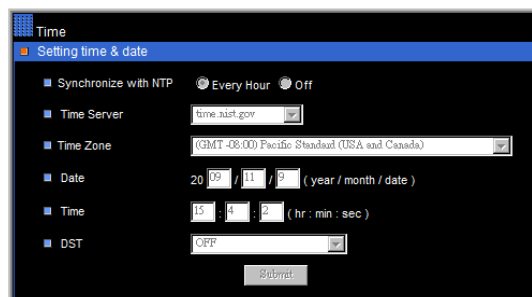


図 76

6-5-10. ユーザー設定 (User Setting)

システム設定メニュー [System Setting] の [User Setting] をクリックすると図 77 のユーザー設定画面が表示されます。

各ユーザーのパスワード及び USER1~USER12 のユーザー名の変更ができます。

- Password :** 前のパスワードを入力してください。
 - New Password :** 新しいパスワードを入力してください。
 - Confirm Password :** 確認のため新しいパスワードをもう一度入力してください。
- USER1~USER12 はユーザー名と権限の変更ができます。
- Username :** 新しいユーザー名を入力してください。
 - User Permission :** ユーザーの権限をプルダウンメニューの中から選択してください。

パスワードの初期値は次のとおりです。

- Administrator : 1111
- Operator : 2222
- Guest : 3333
- User1~User12 : 3333

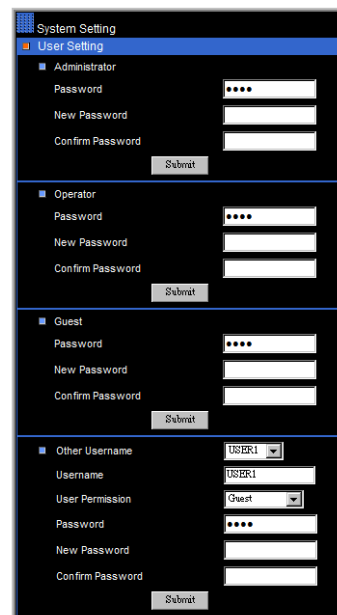
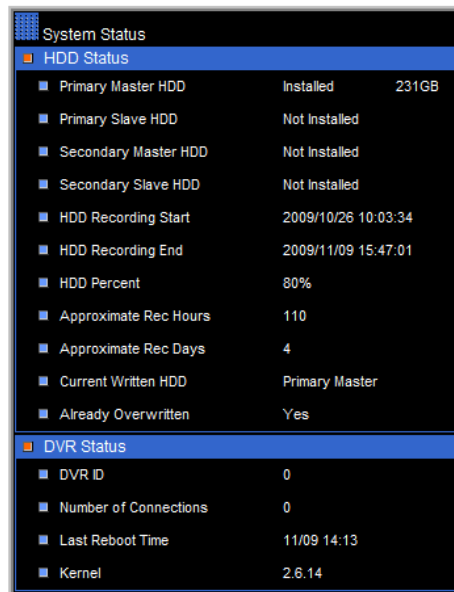


図 77

各ユーザーの設定終了毎にそれぞれの [Submit] をクリックしてください。今変更した内容が本機に送られ“Password gets updated successfully !” と表示されますので [OK] をクリックしてください。

6-5-11. システムステータス (System Status)

システム設定メニュー [System Setting] の [System Status] をクリックすると DVR の現在の状態が表示されます。



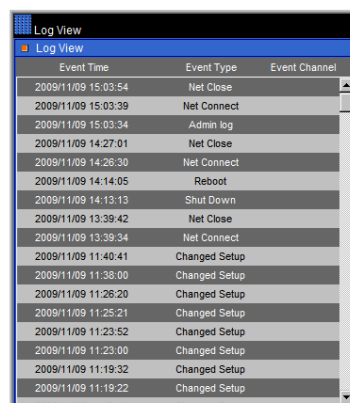
System Status			
HDD Status			
■ Primary Master HDD	Installed	231 GB	
■ Primary Slave HDD	Not Installed		
■ Secondary Master HDD	Not Installed		
■ Secondary Slave HDD	Not Installed		
■ HDD Recording Start	2009/10/26 10:03:34		
■ HDD Recording End	2009/11/09 15:47:01		
■ HDD Percent	80%		
■ Approximate Rec Hours	110		
■ Approximate Rec Days	4		
■ Current Written HDD	Primary Master		
■ Already Overwritten	Yes		
DVR Status			
■ DVR ID	0		
■ Number of Connections	0		
■ Last Reboot Time	11/09 14:13		
■ Kernel	2.6.14		

図 78

Primary Master HDD	本機に搭載されたHDDの容量を表示しています。
Primary Slave HDD	本機では使用していません。
Secondary Master HDD	本機では使用していません。
Secondary Slave HDD	本機では使用していません。
HDD Recording Start	HDDに録画された最も古いデータの日付時刻を表示しています。
HDD Recording End	HDDに録画された最も新しいデータの日付時刻を表示しています。
HDD Percent	HDDの現在の使用率を表示しています。
Approximate Rec Hours	搭載されたHDDに録画できるおよその時間を表示しています。
Approximate Rec Days	搭載されたHDDに録画できるおよその日数を表示しています。
Current Written HDD	現在録画を行っているHDDを表示しています。
Already Overwritten	HDDが上書き実行されたかを表示しています。
DVR ID	設定されたDVRのID番号を表示しています。
Number of Connections	DVRにアクセスしているユーザー数を表示しています。
Last Reboot Time	最後に再起動した日付時刻を表示しています。
Kernel	DVRのOSバージョンを表示しています。

6-5-12. ログビュー (Log View)

システム設定メニュー [System Setting] の [Log View] をクリックすると DVR のすべてのログが表示されます



Event Time	Event Type	Event Channel
2009/11/09 15:03:54	Net Close	
2009/11/09 15:03:39	Net Connect	
2009/11/09 15:03:34	Admin log	
2009/11/09 14:27:01	Net Close	
2009/11/09 14:26:30	Net Connect	
2009/11/09 14:14:05	Reboot	
2009/11/09 14:13:13	Shut Down	
2009/11/09 13:39:42	Net Close	
2009/11/09 13:39:34	Net Connect	
2009/11/09 11:40:41	Changed Setup	
2009/11/09 11:38:00	Changed Setup	
2009/11/09 11:26:20	Changed Setup	
2009/11/09 11:25:21	Changed Setup	
2009/11/09 11:23:52	Changed Setup	
2009/11/09 11:23:00	Changed Setup	
2009/11/09 11:19:32	Changed Setup	
2009/11/09 11:19:22	Changed Setup	

図 79

6-5-13. オペレーターログビュー (Log View)

システム設定メニュー [System Setting] の [Operator Log View] をクリックすると DVR の操作に関するログがユーザー名と共に表示されます。

画面下部の [Download log file] をクリックすると、ログ情報が PC のメモ帳にダウンロードされます。

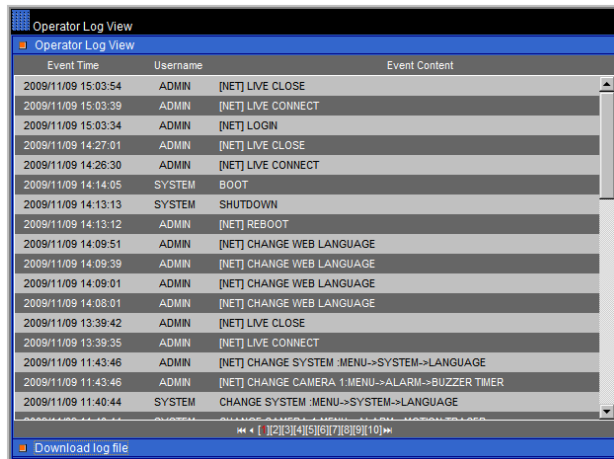


図 80

6-5-14. ファームウェアの更新 (Firmware Update)

本機は、ネットワークを介してファームウェアの更新ができます。

システム設定メニュー [System Setting] の [Firmware Update] をクリックすると、図 81 のファームウェア更新画面が表示されます。PC には予め最新のファームウェアを保存しておいてください。

参照をクリックし、PC に保存されたファーム

ウェアを選択し、[Submit] をクリックしてください。ファームウェアの更新が始まり、更新後、自動的に再起動します。

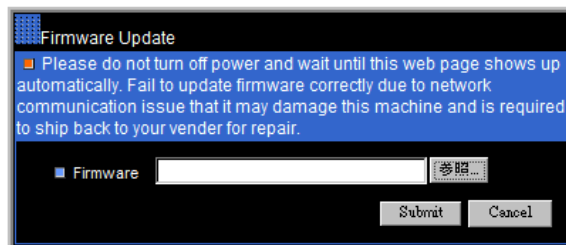


図 81

6-5-15. バックアップ (Backup)

バックアップメニュー [Backup] の [Backup] をクリックするとバックアップ画面が表示されます。

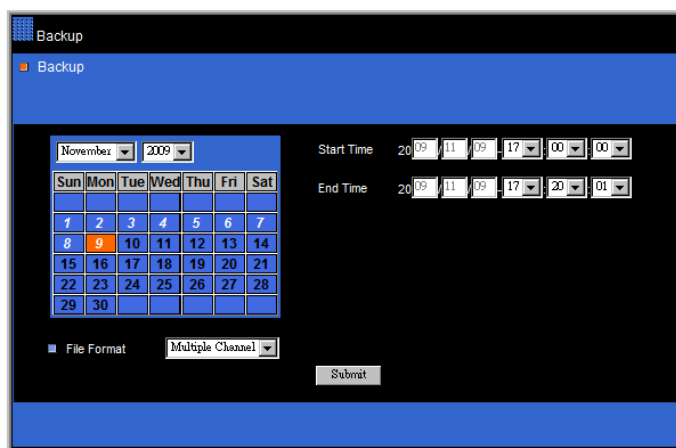


図 82

バックアップする録画データの開始日時と終了日時をそれぞれ [Start Time] と [End Time] に設定します。

日付の設定はカレンダーの日付をクリックしてください。クリックした日付が [Start Time] と [End Time] に同時に設定されます。日付をまたいで [Start Time] と [End Time] を設定することはできません。開始・終了の時刻はそれぞれのプルダウンメニューから選択してください。

[File format] は [Multiple Channel] から変更できません。

[Submit] をクリックすると”The DVR starts to backup the file(s). Please wait a while and click HTTP link(s) to download.”のメッセージが表示されます。[OK] 釦をクリックすると、ダウンロードの振興状況を示す図 83 のプログレスバーが表示された後、バックアップファイル・ダウンロード画面が表示されます。(図 84)

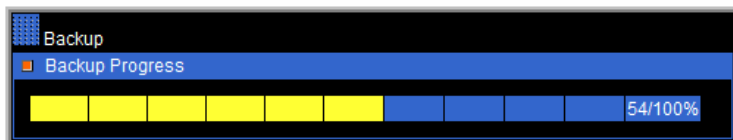


図 83

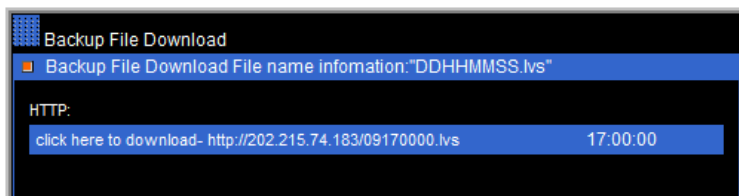


図 84

[HTTP]の下欄をクリックすると「ファイルのダウンロード」Windowが表示されます。[保存] 釦をクリックし表示された Window に従って保存場所を設定するとファイルの保存が開始されます。保存されるファイル名は録画データの開始 [日時分秒] で、拡張子は[.ivs]になります。

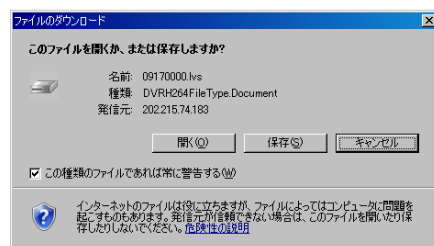



図 85

バックアップメニュー [Backup] の [Backup File Download] をクリックすると、最後にダウンロードしたバックアップデータをもう一度ダウンロードすることができます。

6-6. 再生ソフトのダウンロード

バックアップした録画データの再生には、専用の再生ソフトが必要です。

操作パネルの [H264 Player] をクリックすると、H264Player4CH.exe というファイル  が本機からダウンロードされます。

このファイルを一旦デスクトップに保存し実行してください。

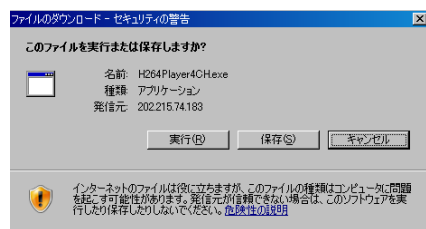




図 86

画面の指示に従ってインストールすると、デスクトップ上に  H264Player.exe と  Pixtree_H264_Dec.dll の二つのファイルが作成されます。この時点で、最初に保存した H264Player4CH.exe は削除しても問題ありません。デスクトップ上の H264Player.exe をダブルクリックし再生ソフトが起動することを確認してください。

7. バックアップデータの再生

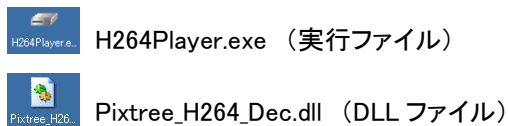
7-1. 再生ソフトのインストール

バックアップした録画データを再生するためのソフトウェアは次の 2 通りの方法で入手できます。

- ① 本体の USB コネクタに USB メモリを挿入し、バックアップデータを USB メモリに保存した場合は、再生ソフトのインストーラがバックアップデータと同時に USB メモリに保存されます。
- ② インターネットによる遠隔監視の場合は、遠隔監視画面の操作パネルにある [H264 Player] をクリックして、再生ソフトのインストーラをダウンロードしてください。

再生ソフトのインストーラは、どちらの方法で入手しても同じもので、ファイル名は H264Player4CH.exe です。

インストーラを実行すると図 87 の自己解凍ソフトが起動します。[Browse...] 鈕をクリックし、再生ソフトを保存する場所を指定します。引き続き [Install] 鈕をクリックすると瞬時にインストールが終了し、先程指定した場所に 2 つのファイルが作成されます。



実行ファイルが再生ソフトです。

実行ファイルは DLL ファイルを呼び出して実行されますので、実行ファイルと DLL ファイルは必ず同じ場所に保存してください。

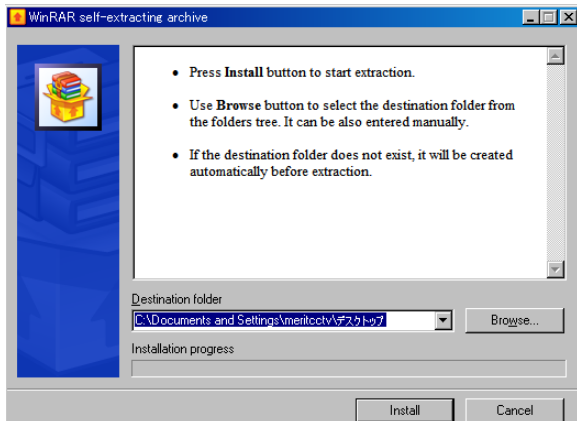


図 87

インターネットで DVR にアクセスするときにはルータの次のポートを DVR の IP アドレスに割り当て開放してください。
(DVR のデフォルト IP アドレスは、192.168.1.111 です。)

Port 80(HTML)、Port 3100(映像)

7-2. 再生ソフトの使用方法

実行ファイル (H264Player.exe) のアイコンをダブルクリックすると図 88 の再生ソフトが起動します。

[Open] 鈕をクリックし、再生するバックアップデータを選択してください。データを選択すると画面右下にデータの開始日時と終了日時が表示されます。再生鈕 [▶] をクリックすると再生が始まります。

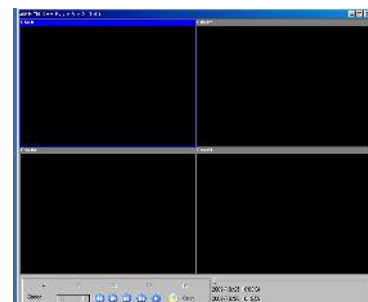


図 88

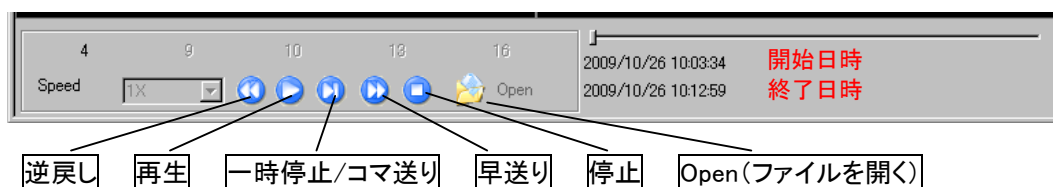


図 89

8. 録画日数

画質	CIF(320 x 240) 録画フレームレート(コマ/秒) 500GB							
	120	80	60	40	20	12	8	4
最高画質	8.0 日	12.0 日	16.0 日	24.0 日	48.0 日	80.0 日	120 日	240 日
高画質	11.4 日	17.1 日	22.8 日	34.2 日	68.4 日	114 日	171 日	342 日
標準画質	16.0 日	24.0 日	32.0 日	48.0 日	96.0 日	160 日	240 日	480 日
低画質	43.6 日	65.4 日	87.2 日	131 日	262 日	436 日	654 日	1309 日

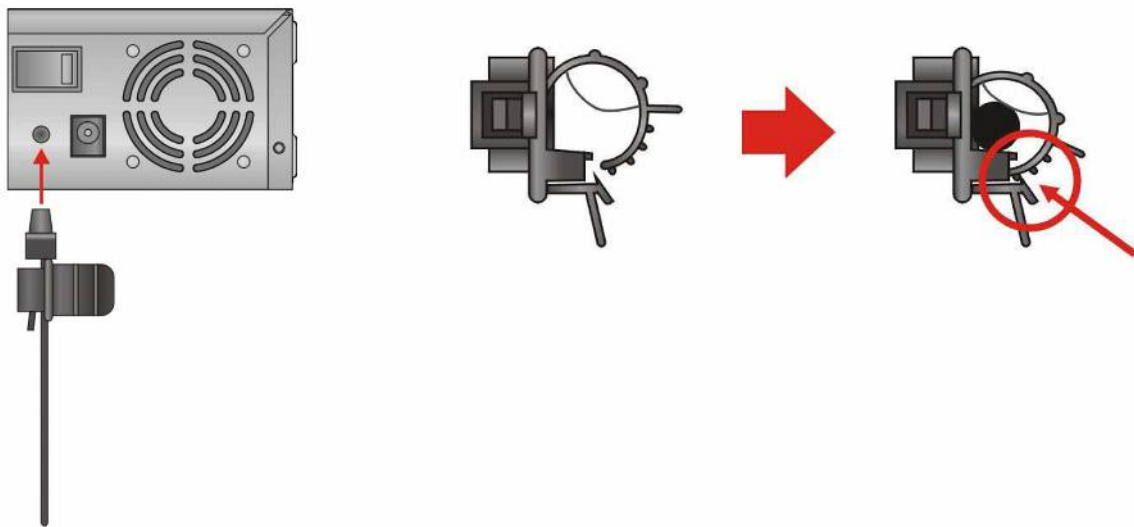
画質	Field(720 x 240) 録画フレームレート(コマ/秒) 500GB							
	60	40	28	20	16	12	8	4
最高画質	8.6 日	12.9 日	18.4 日	25.8 日	32.3 日	43.0 日	64.5 日	129 日
高画質	11.8 日	17.7 日	25.3 日	35.4 日	44.3 日	59.0 日	88.5 日	177 日
標準画質	16.0 日	24.0 日	34.3 日	48.0 日	60.0 日	80.0 日	120 日	240 日
低画質	27.4 日	41.1 日	58.7 日	82.2 日	103 日	137 日	206 日	411 日

画質	Full D1(720 x 480) 録画フレームレート(コマ/秒) 500GB							
	30	28	24	20	16	12	8	4
最高画質	9.8 日	10.5 日	12.3 日	14.7 日	18.4 日	24.5 日	36.8 日	73.5 日
高画質	10.8 日	11.6 日	13.5 日	16.2 日	20.3 日	27.0 日	40.5 日	81 日
標準画質	15.0 日	16.1 日	18.8 日	22.5 日	28.1 日	37.5 日	56.3 日	113 日
低画質	19.4 日	20.8 日	24.3 日	29.1 日	36.4 日	48.5 日	72.8 日	146 日

1. 上記の録画日数は参考値です。実際の録画日数は撮影条件により変わります。
2. フレームレートはカメラ毎に設定でき、カメラ1台の最大録画フレームレート、カメラ4台合計の最大録画フレームレートは録画解像度により異なります。
3. 上記のフレームレートはすべてのカメラの合計録画フレームレートです。

9. 電源ケーブルの固定

付属のケーブルクランプを使用し、下図のように電源ケーブルを固定することにより、電源ケーブルが本体から抜けてしまう事故を防ぐことができます。。



10. 機器仕様

型 名	MDR-004S
録 画	内部 HDD x 1
記録メディア	SATA HDD x 1
録画モード	外部アラーム/動き検知/スケジュール/手動
録画スピード	30 Full D1/秒、60 フィールド/秒、120 CIF/秒、1.2 ~ 8.2KB/CIF
録画解像度	720 x 480(Full D1) / 720 x 240(フィールド) / 320 x 240(CIF)
スケジュール	7日、24時間表示
録画フレームレート	チャンネル毎に設定可能
バックアップメディア	USB 2.0 フラッシュメモリー
再生検索	通常録画検索 / 時間検索 / イベント検索 / 日付検索
再生スピード	早戻し : 2x、4x、6x / 早送り : 2x、4x、6x
圧縮方式	H.264
映像入力	BNC x 4 (1Vp-p、75Ω)
カメラ名称	最大 12 文字
ライブ映像	120 FPS
チャンネル編集	マウスドラッグ
映像出力	BNC x 1 (1Vp-p、75Ω)
VGA 出力	1280 x 1024、3D de-interlace 対応
マルチプレクサ	自動切換え / デジタルズーム / 静止画
モニタ画面表示	フル画面、4 分割、PIP
アラーム入力	4ch (NO/NC 選択可能)
アラーム出力	NO/NC
動き検知機能	感知枠 : カメラ毎に 30 x 24 ユニット、感度 : 8 段階、モーション軌跡表示
イベント	外部アラーム/映像ロス/録画停止/電源/動き検知/スケジュール/HDD フォーマット
アラーム録画	ポストアラーム設定可能
ID 設定	1 ~ 255 まで設定可能
マウス	USB
音 声	入力 : RCA x 1 / 出力 : RCA x 1
ネットワーク	インターネットブラウザアクセス / 複数アクセス可能
ネットワークプロトコル	ARP / TCP/IP / HTTP / SMTP / FTP / DDNS / PPPoE
ウェブ設定	全機能、遠隔アップデート可能、
API	HTTP API / ActiveX / SDK サポート
ウェブ	ライブ / イベントログ / 時間検索再生
IP スキャン	簡易 IP スキャンソフト
ユーザー認証	3 レベル : 管理者、オペレーター、ゲスト
WDT	ウォッチドッグ・タイマ(マイコンが正常に動作しているか否かをチェック)
言 語	日本語
CPU/OS	32-bit RISC Processor, 450 MHz / Linux 2.6 Kernel
使用温度	0°C ~ +50°C
使用湿度	0% ~ 80%
電 源	DC12V
消費電力	40W
外形寸法	290(W) x 57(H) x 320(D) mm
質 量	2.0 kg (HDD 除く)
付 属 品	リモートコントロールユニット x 1



本 社 〒215-0018 神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5-6-17

電話 & ファックス : 044-986-9088

埼玉営業所 〒351-0115 埼玉県和光市新倉 1-28-12

電話 : 090-6527-6624

URL : <http://www.meritcctv.com> E-mail : info@meritcctv.com

2012.4.1